



東洋大学

2019

TOYO UNIVERSITY

国際教育センター年報



東洋大学国際教育センター

『2019 年度国際教育センター年報』の発刊にあたって

国際教育センター長

高橋一男（国際担当副学長、国際学部教授）

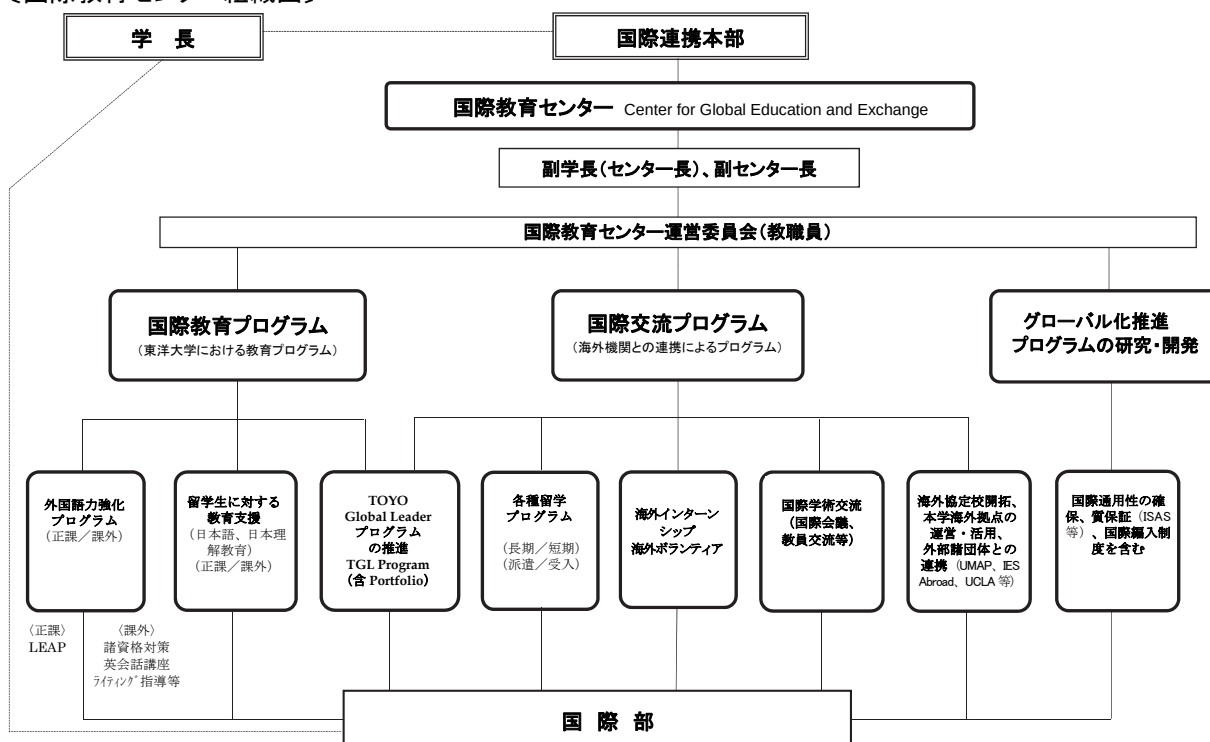
東洋大学は、2012 年に創立 125 周年記念を機に哲学教育、キャリア教育、国際化を柱とする「未来宣言」を表明しました。その 2 年後、2014 年には「スーパーグローバル大学創成支援」（Top Global University Project）事業タイプ B（グローバル化牽引型）に採択され、東洋大学は国際化に大きく舵を切り、全学規模で国際化に取り組んでいます。その国際化推進の役割を強力に担っているのが国際教育センターです。

国際教育センターは、「国際教育プログラム」、「国際交流プログラム」、「グローバル化推進プログラムの研究開発」の構築と充実を目指して活動しています。その目的に向けて、国内外の大学や研究所、国際機関、コンソーシアム等との交流を通じて、学生や教職員、そして東洋大学全体のグローバル化を推進しています。

しかしながら、2019 年度末に新型コロナウイルス感染が地球規模で拡大したため交換留学、協定校語学留学、インターンシップ、ボランティア等の国際教育交流において中止、延期の判断を下さなければならませんでした。この流れはポスト・コロナの国際教育交流の形態そのものを変容させるものです。本センターはこの喫緊の課題に対して新しい国際教育交流の構築に取り組み始めました。

本報告書は、年度ごとの活動成果をまとめて「年報」として報告するものです。2019 年度の活動を詳しく報告する本冊子に関係各位において活用していただき、また、国際教育センターの上記の新しい取り組みに対するご助言を賜ることができたら幸いです。

〔国際教育センター組織図〕



2020年3月31日現在

目 次

●『2019年度国際教育センター年報』の発刊にあたって

トピックス

- | | | |
|---|-------------------------------|---|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症の拡大とその対応 | 3 |
| 2 | 派遣大学数の拡大および海外大学院進学者数の増加に向けた取組 | 5 |
| 3 | 学生が主体となる国際的な交流 | 6 |

国際教育プログラム

- | | | |
|-----|---|----|
| 1-1 | LEAP プログラム | 7 |
| 1-2 | 外国語力強化プログラム：課外語学講座・語学試験 | 8 |
| 2 | 英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト／日本語プレゼンテーションコンテスト | 11 |

国際交流プログラム

- | | | |
|-----|--|----|
| 1 | 海外協定校ネットワークの拡大・海外拠点の運営と活用 | 12 |
| 2 | 各種留学・受入プログラムの実施状況 | 14 |
| 3 | 各種留学・派遣プログラムの実施状況 | 16 |
| 4 | 国際学術交流（国際会議、教員交流等）：シンポジウムの開催 | 19 |
| 5-1 | 交換研究員の派遣 | 20 |
| 5-2 | 外国人研究員の受入 | 21 |
| 6 | Toyo Global Leader (TGL) プログラム | 23 |
| 7 | 留学生就職促進プログラム | 24 |
| 8 | UMAP国際事務局の活動―加盟国拡大、新規プログラム”UMAP-COIL Honors Program”開始 | 26 |

グローバル化推進プログラムの研究・開発

- | | | |
|---|----------------------|----|
| 1 | ISAS2.0 受審結果とフォローアップ | 28 |
| 2 | 柔軟な国際編転入制度の取組の状況 | 29 |

資 料 編

- | | | |
|----|---|----|
| 1 | 学術交流協定校協定締結一覧 | 30 |
| 2 | 学部・研究所等協定締結一覧 | 34 |
| 3 | 学生受入 | 37 |
| 4 | NEST履修者数／BJT団体受験結果／国際会館利用者数 | 46 |
| 5 | ECZ利用者数 | 47 |
| 6 | 学生派遣 | 48 |
| 7 | TGL Program達成状況／留学ガイダンス参加者数／国際教育センターメールマガジン登録者数 | 53 |
| 8 | 2019年度課外英語講座開講実績 | 54 |
| 9 | 各種海外留学奨学金 | 57 |
| 10 | 2019年度 渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金A・B 志願者内訳 | 60 |
| 11 | 2019年度海外留学フェア参加およびリクルーティング出張実績 | 62 |
| 12 | 国際教育センター運営委員会（審議事項） | 63 |
| 13 | 国際教育センターに係る規定一覧 | 66 |
| 14 | 国際教育センター構成員 | 67 |
| 15 | 各種刊行物の発行 | 68 |

トピックス①

新型コロナウイルス感染症の拡大とその対応

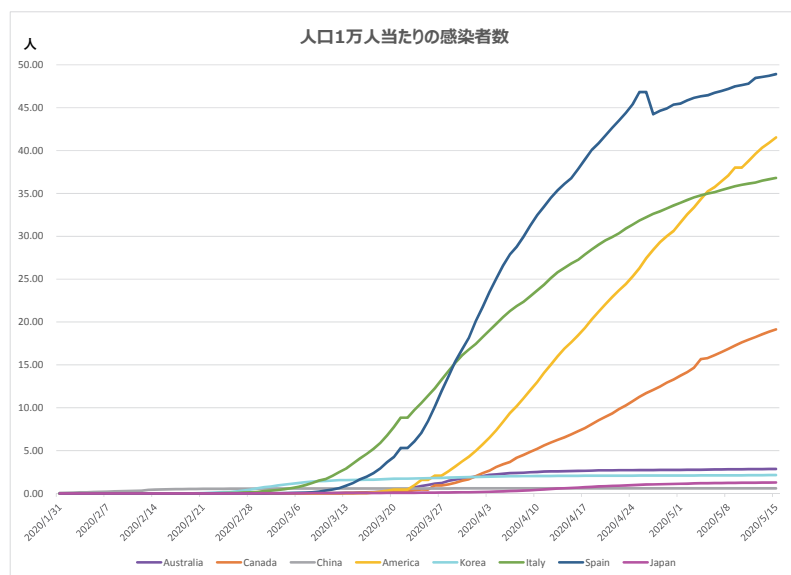
国際部長 高橋清隆

2019年度も大学のグローバル化に影響を与える「想定外」がいくつかあった。6月、香港政府に対する抗議デモが激化。100万人を超えるとされる学生と多くの市民によるデモ活動により、経済活動や市民生活がマヒした。香港の大学運営も中断したことから、日本から留学した学生は途中帰国せざるを得なくなり、また、予定していた高校生に対する進学説明会も中止となった。8月には日韓関係が悪化。韓国ではボイコットジャパンとして日本製品の不買運動が起こり、また記念行事等が中止となった。韓国政府が事業を推進する、韓国の大学生の日本国内への就職を支援する「韓日大学3+1」プログラムは、この影響もあり広がりを見せていない。また、留学先としての魅力が低下した。そして、12月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大。このウイルスは未だ全世界中に大きな負の影響を与え続けている。2019年12月8日に、中国湖北省武漢市の病院で原因不明の肺炎患者が確認され、翌年の1月9日に新型コロナウイルスが検出されたと中国メディアが報道した。当初は人から人への感染は確認されていなかったが、1月10日、香港政府は感染症の警戒レベルを真ん中の「嚴重」に指定、台湾政府も旅行者の警戒レベルを「注意(一番下)」に指定した。日本の厚生労働省のHPに中国の状況が最初に掲載されたのは1月20日になってからである。1月25日、ベトナムで人から人への感染が確認され、日本でも3例目の感染者が報告された。その後、中国国内において感染の拡大が急速に広まり、医療機関の受け入れ態勢や物資の不足が深刻化していく。1月31日、WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると発表したが、「渡航・貿易制限」を見送ったことから、世界中に感染が拡大することとなった。世界全体の危険度を「非常に高い」と引き上げたのは2月28日になってからで、この時点ですでに58カ国・地域及び客船内において、85,951人が感染し、1,827が死亡している。そしてようやく、3月11日に世界の感染の状況に対し、「パンデミック(世界的な大流行)とみなせる」と表明したのである。これを受け、アメリカは13日に国家非常事態を宣言するとともに、最大500億ドル(約5兆4千億円)の連邦政府の資金の活用を可能とし、検査や治療態勢の強化に取り組み始めた。一方、日本の対応は緩慢であったと言えよう。2月1日に湖北省に滞在歴のある外国人の入国を拒否するとともに、中国全土に対する渡航中止勧告をレベル2(不要不急の渡航は止めてください)へ引き上げ、続いて27日には韓国の一部都市、3月11日にイタリアの一部都市、19日にスイス・スペインの一部都市及びアイスランド、26日以降に世界各国を対象とした入国制限を実施した。また、政府からの要請に基づき、各地の学校が3月2日から臨時休校に入るが、世界各国がすでに行動制限を実施しているなか、4月8日になってようやく、東京、神奈川、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に対して緊急事態宣言を発令し、人との接触を8割減らすよう要請した。更に4月16日には、緊急事態宣言の対象を全国にまで拡大し、その終わりを5月6日までとしたが延長し、5月14日に39県を解除、東京、大阪の大都市圏など8都道府県は引き続き継続となっている。日本の対応が世界各国と比べ遅いのは感染者数が少ないこともあろうが、逆に陽性か否かを判断するPCR検査数が他国と比べ極端に少ないという指摘がある。国際オリンピック委員会(IOC)と、7月開催予定の東京五輪・パラリンピックを1年程度延期することについて合意したのが3月24日だった。それまでは日本は安全な国であり、感染者数も少ないので開催できると是が非でもアピールしたかったのだろうと推測している。なぜなら、延期発表を機に政府の対応が機敏になっていくからである。

新型コロナウイルス感染症による肺炎は「COVID-19」と命名された。「コロナ(Corona)」、「ウイルス(Virus)」、「病気(Disease)」そして2019年の組み合わせである。新型コロナウイルスは優れた能力を持っている。無症状・軽症な人でも他者に感染させるため封じ込めが難しく、水面下で静かに拡散していくからだ。当初、若者は感染しにくいとされたが、その後、多くの発症事例が報告された。WHOによれば、2020

年5月18日現在、世界の感染者数は4,628,903人、死亡者数は312,009人、感染者は一日10万人増えている。日本国内の感染者数は16,305人、死亡者数は749人で、高齢者を中心に、経済人、スポーツ選手や芸能人まで幅広い犠牲が出た。世界経済はリーマン・ショック時以上の大打撃を受け、多くの雇用が失われ、教育面では学校の休校による教育格差や情報格差が問題となっている。

本学への影響はどうであったか。まず、この春休みからの留学に対し、出発前に中止した学生は409人であった。また、留学中の192名の学生に対して、留学の中止並びに帰国について勧告した。派遣担当の職員は留学に至るまでの学生の努力や苦勞を熟知しているので、後ろ髪を引かれる思いであった。留学先の授業がオンラインになり、外出規制が出れば大学の施設設備も使用できず、留学の意義が薄れる。また、何よりも心配したのが医療についてである。万が一感染した時、外国人も平等に診察してもらえるか、また英語による診療や看護が受けられるかが最大の懸念点であった。最初の帰国勧告は中国に留学している学生に対し、外務省の感染症危険情報が「早期の一時帰国や中国への渡航延期を検討」に更新されたことに伴い2月18日に周知している。その後、3月初旬にイタリア・韓国、3月中旬以降にアメリカ・オーストラリアほか、全ての国に派遣している学生に対し帰国を勧告した。当初は、学生のみならず保護者や本学の先生方からも、この帰国措置に対して「安全な状況なのになぜ帰国しなくてはならないのか」とご意見をいただいたが、結果として「帰国」の判断は正しかったと思っている。帰国勧告にあたっては、3月17日にその判断基準を次の通り整理した。①外務省の感染症危険情報の危機レベルが2以上の場合は派遣を中止する②感染の拡大状況を鑑み、危険レベルが2へ引き上げられていないが欧州及びアメリカについては留学の中止を強く勧告する③カナダ、オセアニア、アジア地域の留学生には、現時点では留学の中止勧告は行わない。である。結果からすれば、②の判断は正解であり、③の判断は大いに反省しなくてはならない。日本経済新聞の朝刊・夕刊は、1月25日以降、1面・3面・社会面のページを中心に、連日新型コロナウイルスの感染状況や社会に対する影響、また感染症の専門家の意見を掲載していた。それを分析すれば③の地域が安全だと言い切れる保証はなかった。また、3月11日にパンデミックな状況だとWHOが表明している。いくら現時点で感染者が少なくても、また留学先が島国であってもいずれ感染の拡大が起きると予測すべきであった。



国ごとに人口が違うので感染者数の単純な比較ではなく、人口1万人当たりの感染者数を注視していた。3月13日前後から各国とも右上がりになっていくが、オーストラリアの数値は、3月20日には日本を上回った。帰国の判断を学生自身に委ねる方式もあるが、大学のプログラムである以上、その責務は主催者にあろう。また、派遣だけでなく受け入れも大きく減少し、今春の交換留学生112名のうち来日したのは3名のみであった。また一時帰国した留学

生は日本に再入国できない状況が続いている。2020年春から夏にかけての留学は中止が濃厚であり、いつ学生交流が再開できるのか先が見えない。更に、新型コロナウイルスの拡大継続、第2波、第3波の発生リスク及び休業や雇用の喪失による所得減少は、留学の機会を更に困難にさせるであろう。

本学の春学期の授業は全てオンラインとなり、新たな教育手法に取り組んでいる。また事務職員にはテレワークが導入された。政府は9月入学について検討を始めたところである。これらの状況の変化をうまく利用して、新たな留学の手法を創出していかなければならない。COVID-19は社会を大きく動かしている。

トピックス②

派遣大学数の拡大および海外大学院進学者数の増加に向けた取組

海外派遣プログラムに対する学生のニーズの多様化に対応するとともに、更なる学生派遣の拡大を推進していくため、2019年度は「ブリッジ型プログラムをはじめとした派遣者数増に繋がる協定先等の拡大」、「海外大学院進学者数の増加」に向けた取組を実施した。

*ブリッジ型プログラムとは、留学期間中、語学科目および大学正規科目の修得を目指すプログラム。

■派遣者数の増加に繋がる協定先拡大に向けた取組〔※詳細はpp.12、pp.30-37参照〕

新規協定締結を目指す大学の条件(国や地域、提供されているプログラムの語学基準等)に鑑み企画案を策定し、それに基づいて協定先の開拓活動を行った。

<派遣者数増に繋がる協定先等拡大のための企画(抜粋)>

(1) 国・地域

北米、オセアニア、イギリス、留学先大学にて英語で履修可能なヨーロッパ諸国

(2) 提供しているプログラムの語学基準

TOEFL ITP450～500レベルの学生が参加可能なブリッジ型プログラムが望ましい。

(留学1学期目は語学科目、留学2学期目に正規科目を履修するプログラム。もしくは留学1学期目から語学科目と正規科目を同時に履修できるコンカレント型のプログラム。)

(3) プログラムの期間等

① 1年間

② 1学期間(ブリッジプログラムの場合は、コンカレント型が望ましい。)

※上記①②について、春出発、秋出発両方に対応可能であることが望ましい。

(4) 目標数

20大学との新規協定締結

上記企画の担当者が、本学に来校した海外大学のほかNAFSAやEAIE等の国際教育交流大会にて面会した大学と精力的に協議等を進め、2019年度中に、当初の目標数を上回る31大学と学術交流協定・学生交換協定を締結した。2020年度以降、ブリッジ型プログラムをはじめ、派遣者数拡大へ繋がるのが期待される。なお、ブリッジ型プログラムでの派遣者数は2018年度97名に対して、2019年度は107名(※)となった。

※2020年5月時点での把握人数

■海外大学院進学者増に向けた取組

文部科学省「日本人の海外留学促進事業」の一環として、本学にて「海外大学院進学説明会」を開催した。説明会には、本学学生だけでなく、慶應義塾大学など、他の大学所属の学生の参加も見られた。

また、本学学生を対象に提供している「留学カウンセリング」において、海外の大学院進学に関する相談件数が、2018年度は638件だったのに対して2019年度は756件と着実に増えており、海外大学院に興味を持つ学生が増加してきていることが判明した。

こうした動きを受けて、国際教育センターでは、海外協定校の中から学生のニーズに合致する大学院をリストアップした後、各大学院へ個別にアプローチし、進学に際して求められる手続き等に関する情報を収集した。2020年度以降は、そうした情報も活用しながら、海外大学院への進学に係る情報発信を強化していく予定である。

トピックス③

学生が主体となる国際的な交流

■2019年度国際教育センター運動会の開催

交換留学生及び正規留学生向けのイベントとして、国際教育センター主催による初めての運動会を開催した。運動会はToyo Gem Stone (TGS)が中心となり、当日は運営に携わるTGSの学生、Language Exchange Partner (LEP)に登録している日本人学生及び国際教育センターの教職員など、総勢約120人が“日本の”運動会に参加した。日本人にはお馴染みのパン食い競争や綱引き、大玉送りや障害物競争などの競技を実施し、参加者は一体となり各競技を楽しんだ。このような国籍、年齢、立場が異なる参加者によるボーダレスなイベントとして開催できたのは、TGSの学生たちによる準備と運営があつてのことである。彼らの今後の活躍や2020年度は更にパワーアップした運動会となるように期待している。なお、TGSは、海外留学を経験した学生たちが帰国後も英語を活用する国際交流の場を作っていくことを目的に、2017年に国際教育センターの支援のもと結成された団体で、日本人学生及び留学生が所属している。



パン食い競争の様子



大玉送りの様子

■Toyo Winter Illumination 2019の開催

2019年12月13日、東洋大学白山キャンパスに6年振りにイルミネーションが点灯された。世界各国から東洋大学に集う留学生と日本人学生の交流を深めるためにTGSが主催し、国際教育センターと学生支援課が連携して、Toyo Winter Illumination 2019の企画と準備を進めた。

点灯式に向けて、イルミネーションを装飾した株式会社日比谷花壇と学生支援課及び国際教育センターとが綿密なミーティングを重ね、準備をしてきたTGSにとっても最大のイベントとなった。点灯式当日は、多数の教職員や様々な国からの留学生、そして日本人学生が集まる中、TGSを代表してメディアコミュニケーション学科3年の桐山理恵さんが挨拶し、本学のアカペラサークルhumによるクリスマスソングの合唱から始まった。また、「学祖井上円了」「国際性」「スポーツ」をテーマにストーリー仕立てした、レーザー光線による演出も行われ、竹村牧男学長のカウントダウンに合わせてイルミネーションが点灯されると、参加者はイルミネーションの中を散策したり写真を撮ったりして、ひとときを存分に楽しんだ。複数のメディアに記事が掲載され、東洋大学にとってもインパクトの大きいイベントとなった。



イルミネーションの様子



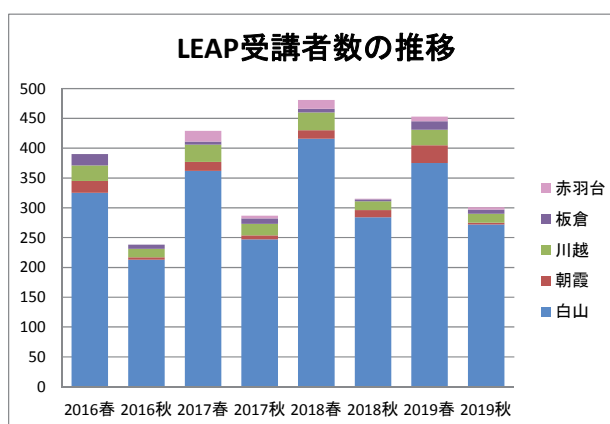
日本人学生だけでなく多くの留学生も参加

LEAP プログラム

LEAP プログラム(Learning English for Academic Purposes)は、主に留学を目指す学生を対象に、学術英語運用能力や学習スキルを養成する全学的な取組として開講している。LEAPプログラムはA科目(Listening/Speaking 中心、週2コマ)とB科目(Reading/Writing 中心、週2コマ)、さらにTOEFL® ITP500点相当を保持する学生を対象とした Pre-Study Abroad 科目で構成されており、白山キャンパスでは TOEFL® ITP のスコアを基準にレベル分けを実施している。1クラスの受講者数を25名程度とし、ペアあるいはグループワークを多く採り入れた授業構成とすることで、留学に必要な学術英語力のみならず、コミュニケーション力や大学での学習スキルなど、留学において必要となる能力全般の養成を目指している。

■LEAP 受講者数

2016年度より春学期からの受講が可能となり、それ以前と比較し春学期の受講者数が増加した。2019年度受講者数は、延べ数で754名となった。2018年度よりも、白山以外のキャンパスでの受講者数がやや増加した。



■LEAP を受講した学生の TOEFL® ITP スコアの伸び

LEAP を受講した学生の TOEFL スコアは大きく上昇した。受講開始前の選抜試験と学期末の実力試験のスコアを比較すると、春学期で 17.5 点、秋学期で 5.6 点のスコア上昇が見られ、中には 40 点以上のスコアアップを達成した学生もいた。LEAP の授業は 1 学期に最大で週 4 コマであり、他大学の類似する英語プログラムと比較しても決して授業時間が多いプログラムではないが、受講生は着実なスコアアップを達成している。また、複数学期にわたり継続して履修する学生もおり、留学準備のための役割を果たしている。

■English Camp ならびにTOEFL® 講座受講者数

LEAP プログラムでは課外活動として、夏季休暇中(9 月上旬)に TOEFL 集中講座、また春期休暇中に English Camp を実施している。2019 年度は新型コロナウイルスの影響により、3 月中旬に予定していた English Camp は中止となった。

(人)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
English Camp	70	78	80	57	55	中止
TOEFL® ITP 講座	88	79	39	57	50	31

外国語力強化プログラム：課外語学講座・語学試験

<課外語学講座>

■学内向け英語講座〔※詳細は pp.54-56参照〕

全学的な英語力の向上を目的に、学内プログラムの拡充を図った。

アカデミックライティングを指導するランゲージセンター（白山キャンパス8号館1階）では講師を各キャンパスに派遣し、Conference Writing (CW)、Special Academic Writing (SAW) のプログラムに加えて、TOEFL® iBT や IELTS™ 試験のライティングパートの演習に特化した Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策) のプログラムを新しく開講し、合計154名が受講した。(2019年度は春学期のみの開講)

英語資格試験対策講座 (IELTS™、TOEFL®、TOEIC® 対策講座) は今年も学内受験の試験スケジュールに合わせ年間を通じて開講し、合計491名が受講した。学生のモチベーションを上げるため、2段階の要件 (出席率9割以上と対象テストの受験、目標スコアの達成) を設け、出席率は89%、テスト受験率が92.0%と高い数値を保つことができ、スコアも TOEFL® 講座は平均21.5点、TOEIC® 講座は平均68.3点向上した。

キャンパス内で受講できる<キャンパス内留学>【Toyo Achieve English】英語講座では、前年度から引き続き26名の講師が少人数制グループレッスンとマンツーマンレッスンを提供した。特に、マンツーマンレッスンの人気は高く、学生のレベルに合わせたオリジナル教材を使用して、学生の語学力の向上に寄与した。また高大連携の一環として、附属中学校及び高等学校 (姫路・牛久・京北) にも引き続き5名の講師を派遣し、授業のほか English Camp、大学入学前教育において英語学習のサポートを行い、英語学習の意識付けとグローバル社会で活躍するためのコミュニケーション力の育成に貢献した。特に入学前教育では今年初めて牛久高校で入学予定者全員に TOEIC® 講座と英会話講座を提供し、5日間の研修後 TOEIC® 平均スコアにおいて53点の伸びが見られた。

【2019年度 英語課外講座受講者数(年間)】

(人)

主催	プログラム名		受講者数			
			学生	教職員	附属校生	学外
国際教育センター	ランゲージセンタープログラム		154			
	英語資格試験対策講座	IELTS™ 講座	141			
		TOEFL® 講座	56			
		TOEIC® 講座	294			
	【Toyo Achieve English】英会話講座		1,332	61	721	494
	BEST プログラム		42			14
その他	ラーニングサポートセンタープログラム		120			
	学部TOEIC講座		19			
合計			2,158	61	721	508

■学内向け日本語講座

2019年度から、外国人留学生向けの日本語課外講座を拡充した。日本語力が高い学生向けのBJT(ビジネス日本語能力テスト)対策講座に加えて、初中級～上級を対象とした少人数のグループレッスンとマンツーマンレッスンができるSTEP UP講座や講師とのマンツーマンによる日本語ライティング指導プログラムを秋学期から新規に開講した。

【2019年度 日本語課外講座受講者数(年間)】

(人)

プログラム名	受講者数				
	春学期	夏季	秋学期	春季	合計
BJT対策講座	39	283(※)	33	開講なし	355
STEP UP講座	70	26	121	11	228
日本語ライティング指導(プログラム型)	開講なし	開講なし	35	開講なし	35
日本語ライティング指導(スポット型)	開講なし	開講なし	51	開講なし	51

※学外参加者50名を含む

■学外向け講座

＜キャンパス内留学＞【Toyo Achieve English】英語講座では、学外向け講座も充実し、全体で年間494名(前年比106.2%)に英語講座を提供した。このうち、白山キャンパスで受講できる英会話講座は、中高生を中心に申込者が増え、年間で206名(前年比113.8%)が受講した。受講者層の低年齢化が進んでおり、そのニーズに対応すべく園児から小学生を対象としたイースター、ハロウィンとクリスマスー日イベント講座を開講し、合計で81名(前年比147.2%)が参加した。また、今年度は新たに講師派遣を積極的に行い、文京区の施設にて主にシニア世代に英会話講座を提供した他、出張英会話により103名が受講した。特に一般受講生に関しては、効果的な広報と魅力的な講座の企画立案が集客に直結するため、今後もニーズを的確に捉え満足度を高める講座運営を目指していく。

今年度は本学独自のビジネス英語講座である「BESTプログラム」を4期開講し、一般社会人と在学生の56名が受講した。(「TOYO-UCLA継続教育センターが提供する「Business English Communication Program (BEC プログラム)」は2018年度に終了した。) 2019年度はビジネスシーンでの会議や交渉を想定した「Meeting and Negotiation講座」を新規に開設し、本プログラムをさらに拡大した。

これらの取組の結果、今年度の学外向け受講者数は合計508名となった。次年度も受講者の拡大を図り、更なる学生の語学力向上に繋がる目的に応じた講座の開講を予定している。

＜語学試験＞

今年度も各種英語資格試験の団体受験制度を活用し、受験料の補助も行うことで学生の受験機会を増やした。TOEIC® L&R IP は全学を対象に白山キャンパスで団体受験を年4回実施(うち1回は川越、朝霞でも実施)し、各学部・研究科においても原則1年次には年2回、2年次～4年次には年1回の受験を促した。長期留学に必要な各種英語資格試験の団体受験も実施し、TOEFL® ITP は年7回、IELTS™ の団体受験は年5回実施した。特に、IELTS™ 受験者数は昨年度に引き続き伸びが顕著であった。その他、TOEFL® iBT やTOEIC® S&W IP の受験料補助も行った。

また、2018年度より開始した、英語以外の他言語の資格試験に対する補助する制度(外国語資格試験受験料補助)について、2019年度は補助対象となる試験の種類を増やし、更に学生の多様なニーズに即した支援を行った。

さらに、留学生に対しては日本語試験(BJT・JPLT)の補助を行い、日本語力向上に向けた支援をしている。

【受験料補助の対象となる語学試験および級】

- －実用英語技能検定(1級・準1級)
- －ドイツ語技能検定(4級以上)
- －ゲーテ・ドイツ語検定試験(C2以上) ※新規
- －実用フランス語技能検定(4級以上)
- －DELF(フランス語資格試験)(A1以上)
- －BJTビジネス日本語能力テスト(BJT)
- －中国語検定試験(4級以上)
- －HSK(中国語標準検定)(1級、初級以上)
- －ハングル能力検定(4級以上)
- －TOPIK(韓国語能力試験)(TOPIK I 以上)
- －スペイン語検定(DELE)(C2以上) ※新規
- －スペイン語技能検定(1級以上) ※新規
- －日本語能力テスト(JPLT)※新規

【外国語資格試験 受験料補助申請者数】 (人)

試験名	2018年度	2019年度
実用英語技能検定	23	29
TOEFL iBT	－	20
漢語水平考試験(HSK)	34	61
中国語検定試験(中検)	22	18
韓国語能力試験(TOPIK)	15	16
ハングル能力検定試験	15	16
DELF/DALF	1	0
実用フランス語技能検定	25	47
TCF(フランス語能力テスト)	-	0
ゲーテ・ドイツ語検定試験	-	5
ドイツ語技能検定試験	11	29
DELEスペイン語検定	-	1
スペイン語技能検定	-	1
小計(外国語試験)	146	243
BJTビジネス日本語能力テスト(BJT)	144	218
日本語能力テスト(JLPT)	-	36
小計(日本語試験)	144	254
合計	290	497

英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト／ 日本語プレゼンテーションコンテスト

■英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト

2019年11月3日(土)に全学を対象とした英語スピーチコンテストを、12月14日(土)に英語プレゼンテーションコンテストを開催した。スピーチコンテストは5回目、プレゼンテーション部門は2回目の開催となる。

英語スピーチコンテストには42名の応募があり、学部の予選を勝ち抜いた10名が参加した。テーマに「ソーシャルメディア」「男女平等」「社会的責任」を設定し、その中から学生が選択して発表をした。5分間という限られた時間を使い、各登壇者は自分の主張を力強く発表した。

英語プレゼンテーションコンテストには、ビデオ審査による予選を勝ち抜いた6チーム18名が参加し(1チーム3名編成)、「2020年東京オリンピック後の日本をどのように捉えるか?」というテーマで、将来日本が直面しうる課題を調査し、その課題解決のために東京オリンピックがもたらす恩恵の活用について、チームでプレゼンテーションを行った。高度な言語運用能力に加えて、的確なスライドデザイン、ジェスチャー、そしてチームワークが求められる中で、出場者たちは工夫を凝らしてプレゼンテーションを行っていた。

また、今年度も多数の企業・団体から協賛のご協力を頂き、更に特別審査員としてもご協力を頂いた。

■第2回 日本語プレゼンテーションコンテスト

2019年12月14日(土)に、日本語プレゼンテーションコンテストを開催した。本コンテストは、本学で修学する外国人留学生に対して日本語学習の機会と日頃の学習成果を発表する機会を提供する目的で、2018年度から開催され、2019年度は第2回目の開催となった。

今回は、東京そして日本にとって大きなイベントである東京オリンピックが開催される2020年度以降の日本社会を考える「Beyond2020」をキーワードに設定し、16組39名の応募(1組3名以内)の中からビデオ審査を通過した8組19名が決勝に出場した。出場者した留学生たちは、独自の目線で日本が抱える課題を調査分析し、日本の将来のあるべき姿について流暢かつ高度な日本語を使いながら、説得力のあるプレゼンテーションを行った。中には、独自でアンケート調査を行い、その結果分析を発表するグループもあり、非常に高度な内容構成の発表となった。

今後も国際教育センターでは、留学生の日本語教育と就職をサポートするために、継続して本イベントを実施していきたい。

<各コンテストの優勝者>



英語スピーチコンテスト
(優勝者)
向山夏末さん(総合情報学科 2年)



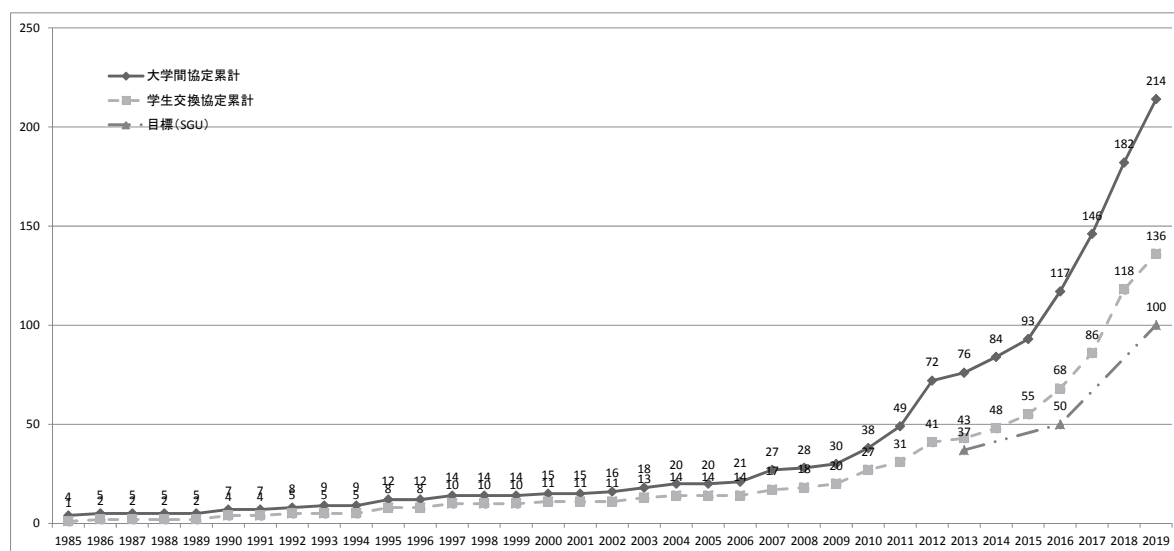
英語プレゼンテーションコンテスト
(優勝チーム)
関 美崙さん(社会文化システム学科 2年)
青木 梨紗さん(国際経済学科 2年)
金谷 愛さん(国際経済学科 2年)



日本語プレゼンテーションコンテスト
(優勝チーム)
朱 璽さん(中国)(総合情報学科 1年)
LEE MI NA さん(中国)(同上)
哲 匯子さん(中国)(同上)

海外協定校ネットワークの拡大・海外拠点の運営と活用

海外に留学して自分の文化と異なる文化の中で世界各国の学生と切磋琢磨することは、学生がグローバルに活躍できる人財に成長するための重要な要素の一つとして位置づけられる。できるだけ多くの学生がそのような経験をするためには、海外の信頼できる高等教育機関と協定を結び、安心して学生が留学できる環境を整えておかなければならない。学業、語学力ともにトップレベルの学生のみならず、より広い層の学生にも(留学に対して熱意と真摯さを持つ学生であれば)留学の機会を提供できるようにしなければならない。国際教育センターでは、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB:グローバル牽引型)」に採択以降、毎年世界各地で開催される国際教育分野の大会への参加や海外大学への訪問などを通じて、協定校、特に学生交換協定の開拓・拡大を続けてきた。費用の面から留学希望者間では交換留学の人気の高いが、そのための語学要件を満たすことができない学生も多い。そのため、1学期間は大学附属の語学プログラムで学び、語学要件を満たした上で2学期目に正規課程の履修を行うブリッジプログラム型の留学が可能な大学との協定を徐々に拡大している。また、英語で正規科目を提供したり外国人のための語学授業を提供している欧州やアジアの大学など、学業面でも経済面でも魅力のある留学先の確保を図り、留学を希望する全ての学生がその機会を得られるように、協定校の開拓を継続していく。



■海外ネットワーク〔※詳細は pp.30-36 参照〕

(2020年3月31日現在)

大学間協定	件数 (国・地域数)
学術交流協定(包括協定)	194(36)
学生交流協定	136(28)
全協定数合計	214(37)

- ・学術交流協定(包括協定)、学生交換協定を個別にカウント
- ・協定機関には大学・国際機関・コンソーシアム・都市(自治体)を含む。
- ・日本の協定機関は上表に含まない

部局間協定	件数 (国・地域数)
学部(11学部)	60(27)
大学院(6研究科)	23(17)
研究所等(6箇所)	21(13)
全協定数合計	91(34)

※研究科と学部等三者間協定 13 件を含むため、
合計は 91 件となる

■海外拠点

本学は、海外に拠点を5カ国7ヶ所に配置している。2018年度にはミャンマー拠点を設置し、2019年度には2013年から5年間設置していたインド工科大学デリー校(IITD)内に再びオフィスを設置した。インドのデリーオフィスは本学のバイオ・ナノエレクトロニクス研究センター(BNERC)との共同研究と、本学のプロモーションオフィスとしての二つの役割を果たすべく設置された、新しいタイプの拠点である。それぞれの拠点の活動内容は以下の通りである。

＜タイ拠点(バンコク)＞

◆設置年 2014年1月

◆場 所 チュラロンコーン大学

現地スタッフが2名常駐し、以下の役割を担う。

- (1) 短期海外研修とSFS(Short-term Field Study、国際学部、大学院が実施する短期研修)の受入支援及び危機管理
- (2) タイの協定校開拓・連携;タイに事務所などを設置する他大学とのネットワーク構築。
- (3) 本学卒業生のためのネットワーク作り、留学生のリクルーティング等、本学のプロモーション活動



＜アメリカ拠点(ロサンゼルス)＞

◆設置年 2016年7月

◆場 所 カリフォルニア州

Affinity Associatesと連携し、連絡拠点(リエゾンオフィス)を開設。本学の広報活動を展開。本学の学生を教員が引率しオフィスを訪問するなどの活動も行われている。

＜ベトナム拠点(ハノイ/ホーチミン/ダナン)＞

◆設置年 2017年2月

◆場 所 株式会社KYODAIのハノイ、ホーチミン、ダナン各事務所

株式会社KYODAIに本学のリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。

＜ミャンマー拠点(ヤンゴン)＞

◆設置年 2018年1月

◆場 所 株式会社MYA JAPAN SERVICEのヤンゴン事務所

株式会社MYA JAPAN SERVICEに本学のリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。

＜インド拠点(デリー)＞

◆設置年 2019年4月

◆場 所 インド工科大学デリー校(IITD)

ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、バイオナノテクノロジー、材料科学の戦略的研究分野を開発するため、また本学の広報機関として機能している。2019年度にはシンポジウム、セミナー、ワークショップが開催された。特にニューデリーで開催された第10回インド日本科学セミナー(2019年9月6～7日)でブースプレゼンテーションを行い、数多くの高校生が参加した。

各種留学・受入プログラムの実施状況

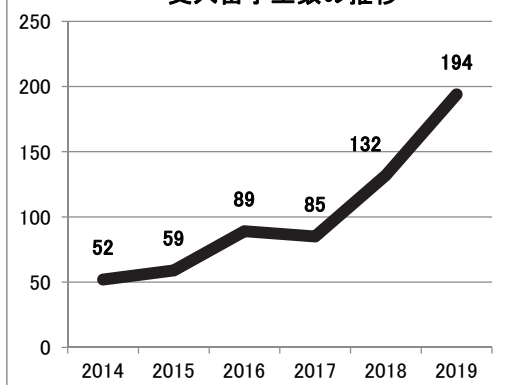
■交換留学生受入数・所属大学国について〔※詳細は pp.41-44参照〕

2019年度交換留学生の受入数は、26カ国・地域より194名と2年連続で大幅に増加した。前年度より年間62名の増加となり、この数字は4年前の約3.3倍である。所属大学国・地域としては、中国(香港)、マレーシア、ベルギー、スコットランド、モロッコが新たに加わった。大幅増加の主な要因としては、新規協定校より早速活発な派遣が行われていることが挙げられる。新規協定校の所在国・地域である中国(香港)、マレーシア、ベルギーに加え、ここ数年の間に新規に協定を締結した、アメリカ、イタリア、オーストラリアの各協定校からの受入数も多くなっている。交換留学生は、交換留学生を対象とした日本語を学ぶ授業の履修だけでなく、日本人学生が多数履修する専門科目やスポーツ科目の履修、English Community Zoneでのアルバイト等を通して東洋大学生と交流しており、交換留学生の増加は、本学のキャンパスの国際化に貢献している。

■授業料徴収型の受入

交換留学は基本的に授業料が相互不徴収であるが、ここ数年授業料徴収型でのプログラム参加の需要が伸びてきた。本学では2004年に国際教育コンソーシアムである ISEP (International Student-Exchange Program)と協定を締結し、メンバー大学間での交換留学である ISEP Exchangeだけでなく、2006年度からは授業料徴収型である ISEP Directでの受入を開始した。受入数の推移は、2009年度～2011年度は各年7名程度で受入を行っていたが、東日本大震災後の2012年度～2017年度は各年3名ほどに減少、2018年度からは5名、2019年度は12名にまで伸びてきた。また、2019年度にはアメリカの留学コンソーシアムである CISアブロード、IESアブロードとの協定を締結し、2020年度には授業料徴収型で学生を受け入れる予定である。授業料徴収型の受入は収入事業になるだけでなく、継続的に受入がある大学とは協定締結等にも繋げられる可能性がある。

受入留学生数の推移



(部局間協定含む)

【所属大学の国・地域名別 年度毎の受入交換留学生数】(人)

所属大学国・地域名	2014	2015	2016	2017	2018	2019
アメリカ	18	18	19	22	29	46
韓国	7	10	11	8	18	19
フランス	4	6	6	7	13	16
台湾	2	3	2	4	13	15
オランダ	2	3	14	12	13	13
中国	3	2	8	9	9	13
イタリア				1		11
イギリス	8	2	8	7	3	10
オーストラリア	3	1	2	2		7
カナダ		3	6	1	12	5
フィンランド	1			3	5	5
オーストリア				1	1	5
ドイツ	1	2	3	2	3	4
メキシコ			2	1	2	4
スペイン					1	3
ベルギー						3
ノルウェー					3	2
ベトナム					1	2
アイルランド	2	7	5	3		2
チリ			1			2
中国(香港)						2
スイス		1	1		2	1
タイ				1	1	1
マレーシア						1
スコットランド						1
モロッコ						1
スウェーデン	1		1		2	
コロンビア					1	
ブラジル				1		
エストニア		1				
総計	52	59	89	85	132	194

■留学生対象イベントの実施

留学生の日本社会や日本文化への理解を深めるため、学外機関の協力・依頼の下、毎年様々なイベントを実施している。外部の教育機関および近隣地区福祉施設等での活動も継続して行っており、留学生の社会貢献に繋げることができた。これらのイベントは2017年度より交換留学生に加え正規留学生にも開放しており、学部生や院生の参加者も年々増加している。

【2019年度留学生対象イベント一覧】

イベント	主催	実施時期	概要
ホームステイプログラム	国際教育センター	6月・11月	群馬県板倉町での日本家庭体験、および茨城県日立市での農家民宿体験。
相撲部見学・体験	国際教育センター	12月	本学相撲部の協力のもと、練習の見学および相撲体験。練習後は相撲部学生とちゃんこ鍋を食べながら交流。
Let's Chat in English!	京北中学高等学校	6月・7月・10月・11月	附属校の京北中学高等学校の中学生、高校生と英語で交流。
北区短期国際交流員	北区	夏期	北区内の保育園、児童館、高齢者施設等で自国文化紹介や地域の方との交流。
朝霞西高校異文化交流	朝霞西高等学校	10月	埼玉県立朝霞西高等学校の生徒に、自国文化を紹介。

■ショートプログラムの実施〔※詳細は pp.45参照〕

今年度、国際教育センターでは、協定大学向けに年間6種類のカスタマイズ型ショートプログラムを実施した。韓国の協定校である仁荷大学とは、昨年に引き続きサマープログラムとウィンタープログラムを実施した。また、新規にアメリカの協定校California State University, Bakersfield (以下CSUB)と香港の協定校である香港公開大学(以下OUHK)との合同サマープログラム、アメリカの協定校Hartwick Collegeとのウィンタープログラム、さらにはIES Study Abroadからの依頼で行なったサマープログラムなどを実施し、合計112名の留学生を受け入れた。

CSUBとOUHKのサマープログラムでは本学の教育学科の協力を得て、児童教育に関する専門的な授業を展開し、また、群馬県みなかみ町の民泊体験など新規のコンテンツも提供した。仁荷大学のウィンタープログラムでは初めてホームステイを新規コンテンツとして提供し、栃木県大田原市での民泊体験は非常に満足度の高いコンテンツとなった。そして、本学で初の3週間のプログラムとなったHartwick Collegeとのウィンタープログラムは、満足度が非常に高いプログラムであると評価され、次年度の実施も既に決まっている。次年度も多くのプログラムを開催し、満足度の向上に努めていきたい。



留学生向けイベント
ホームステイプログラム



ショートプログラム
OUHK のプログラムでは本学野球部の応援にも

各種留学・派遣プログラムの実施状況

東洋大学全体で、2019年度に海外へ派遣した学生は、延べ2,031名であった。コロナウイルス感染拡大の影響により、一部プログラムは中止となったが、2018年度と同様、2,000名を超える学生を派遣することができた。この人数には、学部・研究科主催の語学研修や専門研修、フィールドワーク、学外留学団体等を利用した語学研修、海外インターンシップ・ボランティア等も含まれている。

また、海外派遣者数の拡大に向けて、東洋大学国際教育センターでは、主に以下の海外留学・研修プログラムを実施した。

〔※詳細はpp. 48-52ページ参照〕

■交換留学

2019年度Ⅰ期では13名、Ⅱ期では87名の学生を交換留学生として派遣した。留学期間は1学期間から選択できることとし、ブリッジプログラム型(語学履修科目+学部正規科目)での募集枠も設けるなど、学生の多様なニーズに応えている。昨年度から非英語圏の協定校を重点的に広報し、2020年度の派遣予定学生のうち、アジアやヨーロッパなど非英語圏への留学予定者数は75名(Ⅰ期15名、Ⅱ期60名)と、北米・英国・オーストラリア等の英語圏への留学予定者数40名(Ⅰ期3名、Ⅱ期37名)を上回る結果となった。今後も、英語圏・非英語圏ともそれぞれの留学の特色や魅力を発信し、多様な国への留学を支援していく。

■認定留学

2019年度は春出発11名、秋出発7名、合計18名を派遣した。出願時期にあわせた定期的な説明会の開催および国際教育センターの留学カウンセリングサービスを通じた告知等により、プログラムに対する本学内での認知が高まってきている。

また、2019年度は引き続き協定校型認定留学プログラムで学生交換協定のない協定校5大学へ留学するプログラムを設け、授業料が比較的安価であることや、語学基準が本学学生の応募しやすいレベルであること、出願のタイミングが交換留学より遅いこと、語学を学んでから大学正規課程の受講を組み合わせたブリッジプログラムが充実しているという理由で、選択肢のひとつとして考える学生が増加した。2020年度募集に向けて更に協定校のない地域への留学や、ブリッジプログラムの企画開発、東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」対象のプログラム参加者の増加等を外部団体の協力を仰ぎながら進めている。

■協定校語学留学

2019年度は春学期99名、秋学期80名、合計179名の学生が参加した。2013年度にプログラムを開始して以来、派遣者数は着実に推移してきている。

2019年度は、新たにジョージブラウンカレッジおよびセントメアリーズ大学(カナダ)のコースを新設した。また、一部のコースでは、授業料免除枠の募集を開始するとともに、将来のキャリア形成に繋がる現地企業訪問プログラムも組み入れるなど、学生からのニーズに対応した。

2020年度の募集に向けては、フランス語のコースを新設し、言語の多様化にも取り組んでいく予定である。

■協定校等主催短期プログラム

本学の海外協定校等が主催する短期プログラムへ学生を派遣しており、2019年度は天主教輔仁大学(台湾)へ4名、弘光科技大学(台湾)へ2名、ボローニャ大学(イタリア)へ4名、キャンパスフランス(フランス)へ6名、UMAP協定校へ2名、UMAP主催プログラム(Discovery Camp、COIL)へ5名、日本中国文化交

流協会大学生訪中団へ6名の学生を派遣した。

■語学セミナー

2019年度は夏季5コース(アメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリア、マレーシア)、春季6コース(アメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリア、マレーシア、台湾)を実施した。参加者数は計180名で、2018年度から24名増加した。コース設定にあたっては、北米、ヨーロッパ、オセアニア、アジアと異なる地域でプログラムを実施し、2019年度春季より台湾での中国語コースを新設するなど、各地域の特色が反映されるようにした。全コースをオープンクラスで実施することにより、各学生のレベルに合った英語・中国語学修機会の提供、また他国からの留学生と一緒に学修・活動できる機会を提供した。加えて、ボランティア活動など地域の方と交流できる機会も設定し、プログラム内容を充実させた。今後の新規コース開発にあたっては、引き続き危機管理および学習成果の観点から派遣先を選定し、学生の多様なニーズに応えられるよう企画・運営を行っていく予定である。

■海外インターンシップ・ボランティア

2019年度は様々な分野や研修地域のニーズに応えるべく、夏季7コース、春季9コースを実施し(夏季・春季ともにアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ベトナム)、計39名が参加した。海外経験が初めての学生から、レベルの高い実践的な研修に関心のある学生までのニーズに応えるべく、語学学校に通いながらボランティアに参加するコースや現地企業で実際に英語を使用してインターンシップに従事するコースなど、それぞれ特色のあるコースを設定した。これまで高い語学要件を課していた『USA・シアトルインターンシップ』は『USA・シアトル/ウッディンビル海外インターンシップ～貿易ビジネス/社会福祉』と『USA・シアトル現地日系団体ボランティア～語学学校+広告メディア/高齢者福祉～』に分け、後者は語学学校に通い英語力の向上を図りながら学生が関心のある分野でレベルの高いボランティアに参加できるように内容を充実させた。今後も学生の多様なニーズに応えられるよう様々な分野のプログラムを実施するなど、質の高いプログラム実施に向けて取り組んでいく。

■日本語パートナーズ

日本語パートナーズとは、2014年度独立行政法人国際交流基金がASEAN諸国との交流拡大を目的に開始したプログラムである。ASEAN(東南アジア諸国連合)諸国等の教育機関で日本語を教える教師等の補佐及び日本文化等の紹介を行う人材を日本国内で募集、選抜、事前研修等を行い、派遣している。2017年度の派遣より「大学推薦プログラム」が開始され、本学も独立行政法人国際交流基金との協定締結を行い、参加している。その結果、2019年度はタイへ1名の学生が参加した。

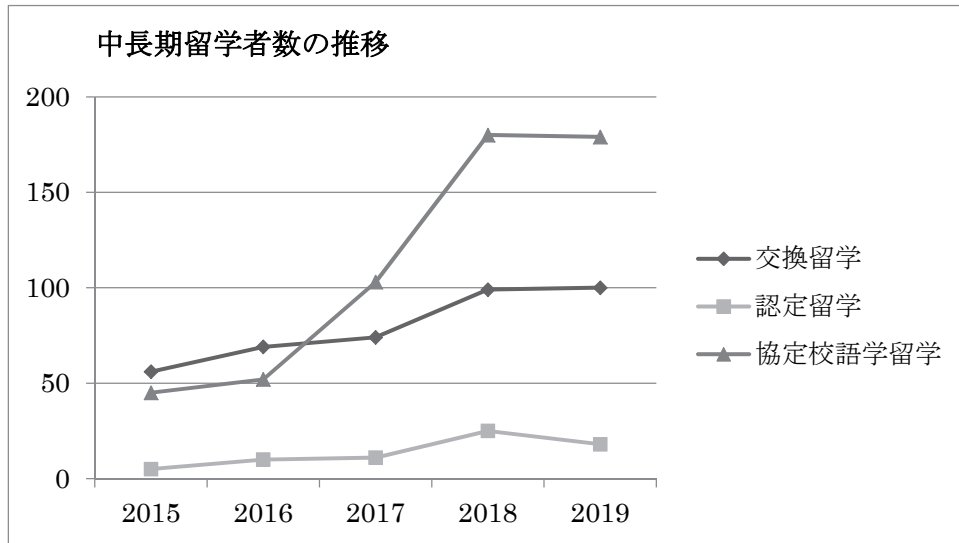
■Diversity Voyage

現地学生と共にフィールドリサーチを実施する課題解決型の短期海外研修「Diversity Voyage」2019年度は夏季8コース、春季4コースを実施し(フィリピン、マレーシア、ラオス、インドネシア、カンボジア、ブータン)、応募者は最大の251名となり、230名の学生を派遣した。これまで実施した第12期までの各参加者の合計が、現地参加者も含めると1,703名となった。2020年度の実施により、累計約1,800名となる見込みである。また、現地での研修成果を活かし帰国後も本研修の根本的なテーマであるSDGs(持続可能な開発目標)に沿った課題解決へ向けて自発的に取り組む学生も多い。グローバル人材育成の導入的プログラムとして今後も積極的に継続していく。

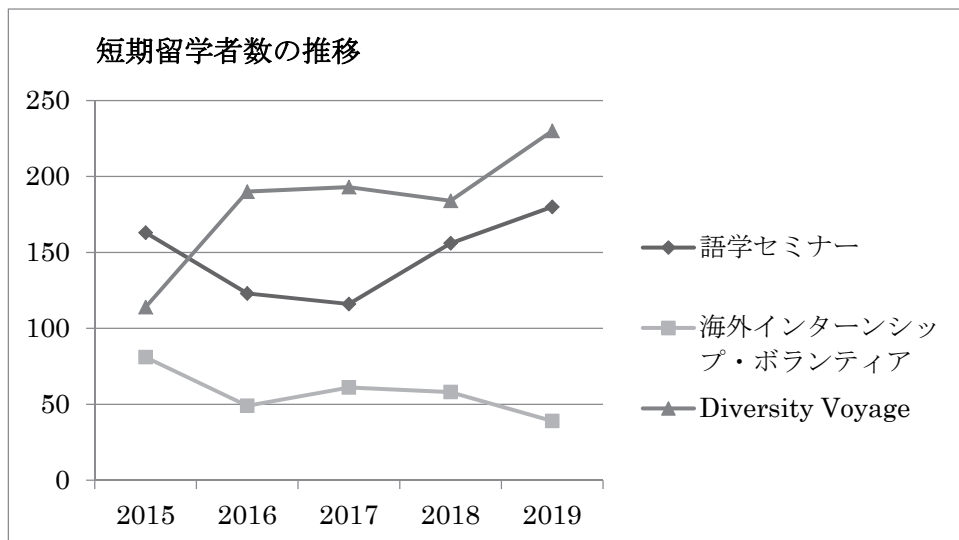
■国連ユースボランティア(UNYV)

国連ユースボランティアは、国連ボランティア計画(UNV)が大学と連携して実施する長期海外インター

ンシップである。開発途上国での国際協力活動の経験を通じ、国際社会や異文化理解に関する知識、主体性や責任感を習得することを目的としている。応募にはボランティア経験が問われるだけでなく、国連オフィスで職員として広報業務やイベント企画を行うための、高い語学力とコミュニケーション能力が求められる。2019年度は1名の学生がラオスへ派遣され、現地オフィスにて5ヶ月間広報活動等に従事した。



※交換留学は、国際教育センター主催分の留学者数



国際学術交流（国際会議、教員交流等）：シンポジウムの開催

「スーパーグローバル大学創成支援」採択校として、日本の大学が国際化を推進する上で抱える課題やそれに付随する先進事例等を、他大学や関係団体と共有し問題の解決に取り組むことを目的として下記セミナーおよび講演会を開催した。本企画により再認識した本学の課題を共有し、引き続き留学生の受入拡大や質保証に向けた教育システム整備に取り組んでいく。

東洋大学スーパーグローバル大学創成支援事業セミナーシリーズ2019

特別セミナー「大学の組織戦略とカリキュラムの国際化の課題」

開催日：2019年7月3日／参加人数：93名／開催場所：東洋大学白山キャンパス

概要：ISASの専門家パネルによる本学の現地調査の実施を契機に、これまでのカリキュラムの国際化に向けた取組を総括し、意見交換する場として開催。*Internationalizing the Curriculum*の著者であり、カリキュラムの国際化に関する研究の第一人者でもあるBetty Leask博士の基調講演を始め、本学の取組の紹介や国内外の高等教育専門家によるパネルディスカッションを交え、日本の高等教育におけるカリキュラムの国際化に関わる活発な議論が行われた。本プログラムはWebinarでも配信した。

式次第：(敬称略)

- 14:00 開会の挨拶 竹村牧男(東洋大学学長)
- 14:10 来賓のご挨拶 林 和彦(文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 国際戦略分析官)
- 14:20 趣旨説明 高橋一男(東洋大学国際教育センター長)
- 14:30 基調講演「カリキュラムの国際化ー境界を広げ、新たな領域と可能性を探索するー」
ベティ・リスク(ラトロブ大学、名誉教授)
- 15:30 質疑応答
- 15:40 講演「東洋大学におけるカリキュラムの国際化の取り組み」 高橋豊美(東洋大学教務担当副学長)
- 16:00 講演「東洋大学国際学部の取り組み」 荒巻俊也(東洋大学国際学部長)
- 16:30 パネルディスカッション
モデレーター：芦沢真五(東洋大学教授)
パネリスト：エバ・エルゴン・ボラック(IAUシニアフェロー、元IAU事務局長)
ジョルジョ・マリノーニ(IAU高等教育機関・国際化政策・プロジェクトマネージャー)
米澤彰純(東北大学教授)
太田浩(一橋大学教授)
- 17:30 総括および閉会のご挨拶 高橋一男(東洋大学国際教育センター長)

特別公開セミナー「外国人留学生採用の第一歩～留学生、企業、大学でスクラム～」

開催日：2019年12月12日／参加人数：約69名／開催場所：東洋大学白山キャンパス

概要：「特定活動」在留資格導入に伴う留学生就職拡大に関する特別公開セミナーとして開催。まず東京都出入国管理局審査官による在留資格研修があったのち、竹内幸一氏(株式会社グローバルパワー代表取締役)から「外国人留学生採用(就職)拡大のメリットと留意点」という演題で講演していただいた。企業からの参加者に向けては外国人雇用のメリットや留意点について、教育機関からの参加者に向けては就職支援の留意点などのお話があり、講演後には活発な質疑応答が行われた。

交換研究員の派遣

[派遣]

交換研究員の派遣は、大学間協定の教員交換に関する条項に基づき、協定校において研究に従事することを目的として専任教員が派遣される。交換研究員は、派遣先協定校の要請に基づき、講義等の教育活動に参加する場合がある。派遣期間は原則として3ヶ月以上1年以内。交換研究員の応募資格は、原則として本学の専任教員として3年以上勤務した者となっており、帰国後は派遣期間の2倍に相当する期間を本学の専任教員として勤務する義務がある。

■交換研究員派遣一覧

年度	派遣者氏名	所属	派遣国	協定校名	研究テーマ	研究協力者	派遣期間
2013	曾田 長人	経済学部 国際経済学科	ドイツ	マールブルク大学	ドイツ人文主義の思想・社会的背景に関する研究	Ulrich Sieg	2013年3月31日～ 2014年4月2日
	関 勝寿	経営学部 会計ファイナンス学科	フランス	ストラスブール大学	(1) 土壌中の放射性セシウム 長期移動シミュレーション (2) 土壌中の不飽和水分移動シミュレーション	Philippe Ackerer	2013年3月25日～ 2014年3月24日
2014	平瀬 和基	経済学部 国際経済学科	ドイツ	マールブルク大学	経済主体の協調行動についての基礎理論と行動経済学的アプローチの研究	Evelyn Korn	2014年4月1日～ 2015年3月31日
	村上 真准	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	ウィノナ州立大学	拡張現実技術を使用した複数の人間と雑談することができる擬人化エージェントシステムの構築	Matthew Strecher	2014年9月1日～ 2015年8月31日
2015	中林 靖准	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	カーディフ大学	大規模数値シミュレーション及び最適化システムの開発	Kensuke Yokoi	2015年4月1日～ 2016年3月31日
2016	宇都宮 京子	社会学部 社会学科	スイス	ルツェルン大学	Max Weber、Luhmann と現象学	Cornelia Bohn	2016年4月1日～ 2017年3月10日
2017	里吉 清隆	経営学部 会計ファイナンス学科	アメリカ	ミズーリ大学 セントルイス校	証券市場の計量分析 (1) 資産価格の時系列分析 (2) オプション価格の評価	Yiuman Tse	2017年3月28日～ 2018年3月29日
	ブランシャール・ニコラ	経済学部 総合政策学科	フランス	ストラスブール大学	フランス景観保存政策における広告と看板の規制制度の分析	Dominique Badariotti	2017年8月3日～ 2018年8月21日
2018	藤本 貴之	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	カリフォルニア大学バークスフィールド校	メディア産業の構造およびエンターテインメント産業／技術の日米比較	Mary Slaughter	2018年9月1日～ 2019年9月1日
2019	山口 裕之	経営学部 経営学科	イギリス	カーディフ大学	社内起業家の育成と確保：企業内イノベーションのプロセス分析	Rick Delbridge Jonathan Morris	2019年4月1日～ 2020年3月26日
	喜岡 恵子	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	コベントリー大学	鉄道運転士の事故防止支援のための心理アセスメントシステムに関する日英比較研究	Andrew Parkes	2019年8月5日～ 2020年8月4日 (予定)
	吉江 由美子	食環境科学部 食環境科学科	フランス	ストラスブール大学	食品中の有用成分とその機能一括分析ならびにその効率的な前処理方法の開発	Eric Marchioni	2019年7月1日～ 2020年3月24日

[受入]

2011年度以降受入実績なし

外国人研究員の受入

交換研究員とは別に本学において主として研究に従事する外国人研究員の受入を行っている。外国人研究員は、外国の大学、その他これに準ずる教育研究機関に所属する教員又は研究員が本学において研究を希望する者で、所属機関長の推薦を得て、本学の受入教員を通じて学長に願い出るものとする。受入期間は3ヶ月以上1年以内となっており、滞在や研究に関する諸経費は原則自己負担となるが、本学での身分が保証され、本学の施設設備を利用することが可能となっている。過去5年間の受入実績は以下のとおり。

■外国人研究員受入一覧

年度	研究員氏名	国籍	所属機関	所在国	受入学部	受入教員	研究テーマ	受入期間
2015	王 宇	中国	中国伝媒大学	中国	社会学部	薬師寺 克行	日本におけるリスクのメディアカバレッジについて	2015年10月1日～11月19日
	宮 曉 東	中国	北京理工大学設計芸術学院	中国	ライフデザイン学部	高 橋 儀 平	日本におけるユニバーサルデザインの経験と応用に関する研究	2016年2月1日～2016年4月30日
2016	Mark Kam Loon Loo	カナダ	エドモントン・コンコルディア大学	カナダ	法学部	グリーン スティーブン	ASEAN諸国の国際競争力:カナダのビジネスに与えるリスク、機会、忠告について	2016年5月1日～7月31日
	胡 鳴	中国	浙江旅遊職業学院	中国	社会学部	王 雪 萍	日中国交正常化後の日本人の対中イメージの変遷とメディア	2017年3月1日～8月31日
	苏 尤 丽	中国	新疆財經大学	中国	経済学部	城 川 俊 一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	湯 建 国	中国	新疆財經大学	中国	経済学部	城 川 俊 一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	汪 江 桦	中国	新疆財經大学	中国	経済学部	城 川 俊 一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	張 銳 智	中国	遼寧大学	中国	法学部	後 藤 武 秀	黄遵憲の中日法文化交流に対する貢献に関する研究(日中比較法史)	2017年2月1日～7月31日
	金 相 日	韓国	東国大学校	韓国	文学部	山 田 利 明	20世紀前半期在日本東京朝鮮人留学生(仏者)の学習活動調査と朝鮮通信使の道踏査研究	2017年3月1日～8月31日
	徐 仁 範	韓国	東国大学校	韓国	文学部	森 公 章	「朝鮮通信使の道を行く(著書)」と朝鮮虎皮・豹皮の朝貢と賜与を通じてみた東アジア国際秩序(論文)	2017年3月1日～2018年2月28日
2017	馬 燕 平	中国	山西大学商務学院	中国	経済学部	続 三 義	経済学科のカリキュラムと改革の研究	2017年4月1日～9月30日
	魏 鍾 善	韓国	ウィノナ州立大学	アメリカ	文学部	朝比奈美知子	児童文学、読書教育、教師教育、多文化文学	2017年9月1日～12月31日

年度	研究員氏名	国籍	所属機関	所在国	受入学部	受入教員	研究テーマ	受入期間
2017	袁 岳 駟	中国	湖南科技学院経済 与管理学院	中国	経済学部	郝 仁 平	日中における農村地域の 経済開発に関する比較研究	2017年9月1日～ 2018年8月31日
2018	黄 懷 谷	中国	珠海城市職業技術 学院	中国	社会学部	王 亜 新	認知参照点モデルに基 づく日本のマグスポット 研究－中国観光への波 及効果に関連して	2018年9月1日～ 2020年8月31日
2019	Erica Baffelli	イタリア	マンチェスター 大学	イギリス	社会学部	高 橋 典 史	日英共同研究プロジェ クト ‘Religion and Minority’ に関わる日本 国内の宗教組織への訪 問調査および関連する 研究者たちとの情報交 換の実施	2019年8月8日～ 8月24日 2019年12月23日 ～2020年1月12日
	Aura Di Febo	イタリア	マンチェスター 大学	イギリス	社会学部	高 橋 典 史	日英共同研究プロジェ クト ‘Religion and Minority’ に関わる日本 国内の宗教組織への訪 問調査および関連する 研究者たちとの情報交 換の実施	2019年7月21日～ 9月12日
	林 興	中国	福建江夏学院	中国	経済学部	郝 仁 平	一帯一路視角に基づき 農村振興的の機会と挑 戦に関する研究	2019年12月16日 ～2020年6月15日

Toyo Global Leader (TGL) プログラム

■TGL GOLD 認定者の声

2020年3月23日、新たにTGL GOLD 認定者46名(4年生のみ)が誕生した。この世代はTGLプログラムが本格的に開始された年に入学した学生たちであり、積極的に活動に参加をしていた。

学長賞やスポーツ奨励賞の受賞者と同じく、TGL GOLD 認定者46名には本学の学章入り表彰状と副賞が贈られた。今回の46名には歴代TGL GOLD認定者の中でもTGポイント最多獲得者(127ポイント)である国際地域学科4年のミッチェル ティファニー 希さんをはじめ、歴代のTGポイント獲得者トップ10入りを果たした学生が多かった。

■TGL GOLD 認定者の声

○ミッチェル ティファニー 希さん(国際学部 国際地域学科 4年)

努力が数字や成績に反映されるTGLプログラムは、大学生活において何かに挑戦することを後押ししてくれました。結果として認定されたGOLDは大学4年間の軌跡として、卒業後も私の支えになると確信しています。

私は、留学したことで新しい日本の見方を知り、日本が大好きになりました。グローバル人材とは、海外に精通するだけでなく、日本の魅力を海外に発信できる人のことを指すのだと思います。社会人としても、日本人としても、多角的に日本の良さを伝えられる人になりたいです。



○徳田 智大さん(文学部 英語コミュニケーション学科 4年)

大学生活4年間で何か目に見える結果を達成したいと思っていた私は、ある時自分の専攻である英語コミュニケーション学と共通する点が多いTGLプログラムの存在を知り、GOLDを目指して参加することにしました。TGLプログラムに積極的に参加すると、色々な国の人と関わる機会が増え、多種多様な価値観や考え方に触れることができました。

このプログラムで様々なことにチャレンジした結果、GOLDという素晴らしい成果を得ることができました。この自信を胸に、卒業しても行動力を失うことなく、常にチャレンジ精神を持つ社会人になりたいです。



■TGL 認定者数目標値

2019年度及び過去の実績値は下表の通りである。TGL 育成の目標値は、2020年度「GOLD」認定者数460名、「SILVER」認定者数1,100名、「BRONZE」認定者数2,500名としている。

	2016年度 (実績値)	2017年度 (実績値)	2018年度 (実績値)	2019年度 (実績値)	2020年度 (目標値)	2023年度 (目標値)
TGL GOLD	0	13	26	51	460	460
TGL SILVER	32	91	485	797	1,100	1,100
TGL BRONZE	176	439	1,670	2,646	2,500	2,500

(人)

留学生就職促進プログラム

東洋大学は、2017年に文部科学省の「留学生就職促進プログラム」委託事業に首都圏の私立大学として唯一選定された。島根大学、金沢星稜大学とコンソーシアムを組織して「留学生I・turn就職促進プログラム」を目標に掲げ、東京と地方都市をつなぎ、留学生の「I・turn就職」を促進している。就職先の選択肢を拡大することで留学生のキャリアパスの安定化につなげることを目指し、また、首都圏以外の地方を知る機会を提供することで日本の文化、社会、言葉の多様性を理解してもらうことも意図している。これまで島根大学および金沢星稜大学と連携してきたが、2019年度からは新たに新潟県長岡市とも連携を始めた。

また、2019年度には中間評価が行われ、本学の取組は、「他大学の施策にも参考になる」「今後の就職促進の取組にその方向を示唆する」など、リーディングモデルとして高い評価を得ることができた。

<2019年度実施内容>

【ビジネス日本語教育】

○正課「ビジネス日本語開講」

履修者の様々な要望に応える形で、授業では担当教員によるビジネス日本語講義だけでなく、オンライン教材(2018年度作成)やオリジナルBJT模擬問題(2019年度より作成)の使用、外部講師の講演などが多層的に実施され、留学生は半期に渡る継続的なビジネス日本語学習を通じて、ビジネス日本語の表層的な習得ではなく、その背後にある日本語社会・文化も含めた深層的な理解に努めた。履修者数は2018年度の30名(春学期6名、秋学期24名)から2019年度の122名(春学期68名、秋学期54名)に急上昇した。

○講座

- ・ 春学期BJT対策講座
(期間:5月17日～6月11日、場所:白山キャンパス、クラス:中級及び上級、参加人数:39名)
- ・ 夏季ビジネス日本語ポイント講座
(期間:8月27日～9月15日、場所:白山キャンパス、参加人数:283名(学外50名含む))
- ・ 秋学期BJT対策講座
(期間:11月26日～12月20日、場所:白山キャンパス、クラス:初級、中級、上級、参加人数:33名)
- ・ ビジネス日本語一日完結講座
(期間:1月11日、場所:川越キャンパス、参加人数:2名)
(期間:1月22日、場所:赤羽台キャンパス、参加人数:2名)
- ・ 島根大学ビジネス日本語集中講座 (期間:11月2日～3日、場所:島根大学、参加人数:10名)

○BJT団体受験

- ・ 大学自前の予算で春夏秋の年3回(6月、9月、12月)団体受験補助を実施し、延べ218名がBJTを受験した。昨年度の144名から1.5倍に受験者が増加し、ビジネス日本語学習意欲の向上が窺い知れるばかりではなく、取組が奏功し、8名の留学生が最高級のJ1+(どのようなビジネス場面でも日本語による十分なコミュニケーション能力がある水準)に合格した。

○その他

- ・ オリジナルBJT模擬問題作成(160問)

【キャリア教育】

○「国際キャリア概論」開講

留学生向けキャリア教育科目として開講し、日本の就職活動文化について説明するだけに留まらず、

インターンシップに従事する在学学生や日本就職を成し遂げた卒業生を講師として招聘して体験談を聴講することで就職活動実践について考える機会を得た。また地方インターンシップについての講義もあり、首都圏だけでなく地方でのインターンシップについて考えることができた。当該科目は春学期に白山キャンパスで7名、秋学期に川越キャンパスで6名の学生が履修した。

○プログラム企画連続講演会

本プログラムは様々な教育機会を提供しているが、そこで得た知識や考察を日本におけるキャリア形成とビジネスに具体的にどのように活かしていくかを知るために、2019年度は年間を通じて7度の講演会を実施し、実際に日本社会の様々な場で国際的に活躍する講師の話を聴く機会を設けた。合計延べ362名の聴講があった。

【インターンシップ】

○インターンシップ

国際化推進協会(JAPI)と提携の下、留学生のインターンシップ派遣を実施。インターンシップ前に、日本企業の文化やマナーを知るための事前研修を2回(1回あたり50分)提供し、延べ93名の学生がインターンシップを行い、そのうち6名が採用の内定を得た。

○地方インターンシップ

- ・ 地方企業インターンシップツアー石川コース
(期間:8月18日～24日、参加人数:29名、内容:就業体験、文化体験)
- ・ 地方企業インターンシップツアー島根コース
(期間:2月2日～8日、参加人数:19名、内容:就業体験、文化体験)
- ・ 地方企業インターンシップツアー石川コース
(期間:2月10日～16日、参加人数:13名、内容:就業体験、文化体験、合同説明会参加、就職セミナー参加)
- ・ 地方企業インターンシップツアー新潟コース
(期間:2月23日～29日、参加人数:18名、内容:就業体験、文化体験、企業説明会参加)

【その他】

○優秀留学生表彰

成績評価係数、ビジネス日本語能力、インターンシップ就業日数を基準に本プログラムにおける優秀留学生として選考し、優秀賞2名、奨励賞6名を2020年1月25日に表彰した。該当学生はこの表彰歴を活用して日本での就職活動に励んでもらう。

○留学生就職支援室の運営

○留学生就職促進PG専用Webサイト運営及び成果公開

○留学生就職特別奨学金支給

【地方インターンシップの様子】



新潟県



石川県



石川県

UMAP国際事務局の活動


 Website
E-Mail

 www.umap.org
umap-is@umap.org

一加盟国拡大、新規プログラム“UMAP-COIL Honors Program”開始

2016年1月よりアジア太平洋大学交流機構(University Mobility in Asia and the Pacific:UMAP)の国際事務局に本学が任命され、4年が経過した。その間、アメリカ、オーストラリア、カナダを始め、新たに11カ国・地域が年会費を払いプログラム参加資格を有し、そのネットワークは着実に拡大している。その目的は「アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進」であり、36カ国・地域(下図参照)を対象に2019年1月よりUMAP議長を務めるタイの高等教育科学研究イノベーション省とともに活動している。

UMAP 加盟対象の 36 カ国・地域



★印はプログラム参加国・地域

- ・オーストラリア★
- ・ブルネイ★
- ・カナダ★
- ・中国★
- ・フィジー
- ・香港
- ・インドネシア★
- ・カザフスタン★
- ・キルギス★
- ・マカオ★
- ・メキシコ★
- ・ミャンマー
- ・バブアニューギニア
- ・フィリピン★
- ・ロシア
- ・シンガポール
- ・タイ★
- ・アメリカ合衆国★
- ・バングラデシュ★
- ・カンボジア★
- ・チリ★
- ・エクアドル
- ・グアム
- ・インド
- ・日本★
- ・大韓民国★
- ・ラオス★
- ・マレーシア★
- ・モンゴル★
- ・ニュージーランド
- ・ペルー
- ・レユニオン
- ・サモア
- ・台湾★
- ・東ティモール
- ・ベトナム★

(2020年4月時点)

なお、本学の国際事務局は、文部科学省からの拠出金と本学の予算をもとに運営をし、日本国内では、文部科学省、UMAP日本国内委員会をとりまとめている日本学生支援機構(JASSO)、国立大学協会、公立大学協会、私立大学団体連合会及び協力大学と連携して、UMAPの普及に努めている。今後も東洋大学がアジア太平洋地域内の学生交流を推進するためのハブとしての役割を果たし、当該地域における高等教育レベルでの交流促進に貢献していく。

■UMAPが提供する学生交流プログラム一覧 ※2017年4月1日より、Program A&B,CはJASSO海外留学支援制度(重点政策枠)対象プログラムA(多国複数大学間の交換留学プログラム)

UMAP加盟国・地域の複数の大学(UMAP参加大学)間で、各セメスター原則2名の派遣・受入を行う交換留学プログラム。

プログラムB(二大学間交換留学プログラム)

プログラムAで原則2名を超える学生の派遣・受入を実施した場合(学費支弁型も含む)、双方の大学の合意の下で行う交換留学プログラム

プログラムC(短期留学プログラム)。

UMAP参加大学が、主に7月～9月の間、約1週間～8週間にわたり実施する短期留学プログラムで、テーマや実施規模は多様。

UMAP Discovery Camp(サマープログラム)

UMAP加盟国が主催する夏季短期プログラム。2018年はタイ、2019年は台湾の教育部と輔仁大学がホストし、参加費(授業料および寮費)は無料。

UMAP Research Net(研究助成金)

2名以上のUMAP参加大学教員等により、学生交流及び国際教育に関連する諸課題の研究を支援し、教員等のネットワーク構築と学生の流動性を促進するプログラム。

UCTS(UMAP単位互換方式)の研究

2019年9月にUCTS Users' Guidebookの改訂を刊行。



UMAP-COIL プログラム開始

文部科学省「平成30年度－大学の世界展開力強化事業－」タイプB(交流推進・プラットフォーム構築プログラム)に関西大学の事業名「グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム」が選定された。そのプログラムの一環として、関西大学国際部内IIGE (Institute for Innovative Global Education)が主催、UMAP国際事務局が協力機関となり、UMAP参加大学の学生を対象に



2019年7～8月にかけてUMAP-COIL Honorsプログラムを実施した。参加学生は16名(日本、マレーシア、フィリピン、台湾、タイ及びアメリカの6カ国から)で、うち日本のUMAPメンバー校からは、関西大学(1名)、東洋大学(4名)の計5名が参加した。プログラムを終了した参加学生には、4UCTSが付与された。

開催期間: 1) 7月1日(月)～7月21日(日)＊プログラム前研修
2) 7月27日(土)～8月4日(日)＜大阪セミナー＞留学生のみ
3) 8月4日(日)～8月23日(金)＜クルーズプログラム＞

開催地: 日本、韓国、ロシア(船で移動)

詳細: <http://umap.org/programs/umap-coil-program-list/#program-content>

UMAP国際理事会の運営と国際セミナー・ワークショップの開催



UMAPの活動を円滑に推進するために、年に2回、議長国を務めるタイと国際事務局のある日本において、国際理事会を開催。加盟国・地域から政府教育担当省庁の関係者や主幹大学の代表者が出席し、学生交換プログラムの活性化に向けた課題解決やUMAPサマープログラムなど新規事業の立案、広報活動等について議論を行っている。国際理事

会の後、2019年は国際セミナー(公開)をタイの高等教育科学研究イノベーション省(The Ministry of Higher Education, Science, Research and Innovation(MHESI))、本学のUMAP Joint Research Team (Grants-in-Aid for Scientific Research (A) Sponsored by Japan Society for the Promotion of Science (17H01025))と共催。「International Student Mobility for the 4th Industrial Revolution (4IR)」をテーマにアメリカ、カナダ、タイ、日本の基調講演およびパネルディスカッションが行われた。

日時: Wednesday, November 13, 2019 13.00 17.00,
Followed by Reception

場所: Fuji Grand Ballroom, 4th Floor, Hotel Nikko Bangkok, Thailand

参加者数: 約100名(UMAP 加盟国の政府関係者、大学関係者、高等教育機関、Southeast Asian Ministers of Education Organization(SEAMEO)、など)



USCOシステムの改修

ポータル画面の追加、プログラムC(短期プログラム)の3サイクル運用など、利用者からのリクエストに基づきシステムの改良を行った。マニュアルは、UMAP HPで随時更新している。

プロモーション活動

■刊行物 UMAP Newsletter: 年2回刊行／UMAP AT A GLANCE: UMAPの概要紹介パンフレット

■ソーシャルメディア Facebook、Twitterで随時速報配信

文部科学省所管SGU基幹サイト	日本語・英語	一般	随時	SGU取組み内容
FACEBOOK	英語	一般	随時	本学Webサイト掲載Newsへの誘導、渡日前入試等の告知

ISAS2.0 受審結果とフォローアップ

国際大学協会 (IAU) が提供する「国際化戦略に関する助言サービスである ISAS2.0 (International Strategy Advisory Service 2.0)」の受審の取組を行った。ISAS2.0のプロセスを完了した証としてのISAS2.0 Learning Badge (右)を獲得し、2019年11月にメキシコ合衆国プエブラ市で開催されたIAU国際総会において授与式が開催された。IAU専門家パネルが提出した最終報告書には16の勧告が記載されており、これらの勧告内容をフォローアップおよび改善することで、本学の国際化をさらに発展させていく。



■ISAS2.0の受審に向けた取組内容(2019年度)

実施時期	取組内容	備考
5月	ISAS2.0成果報告書(最終版)を専門家パネルに提出	送付日:5月29日
7月	専門家パネルによる現地調査の実施	調査日程:7月1日~3日
8月	専門家パネルによる最終報告書を受領	受領日:8月30日
8月~10月	学長フォーラム、国際連携委員会にて最終報告書を共有	
11月	IAU国際総会(メキシコ合衆国プエブラ市)にてISAS2.0ラーニングバッジ授与式開催	開催日:11月14日
12月	ISAS2.0成果報告書および最終報告書をHPに掲載し一般公開 TGD Newsletter Vol.10にてISAS2.0受審の取組を特集	
3月	ISAS2.0の取組全てを集約した『東洋大学の国際化戦略に対するアドバイザリー・サービス(ISAS2.0)報告書』を作成	発刊日:2020年3月

■ISAS2.0運営委員会開催記録(2019年度)

実施回	日時	審議・報告事項
第1回	2019年4月8日 (メール会議)	1. 東洋大学スーパーグローバル大学創成支援事業セミナー2019 企画案 2. ISAS専門家パネルメンバー滞在スケジュール案 3. 国際化アンケート調査のクロス集計結果について
第2回	2019年5月20日	1. ISAS2.0成果報告書(日本語版/英語版)の確定と英語版の提出について 2. 2019年度ISAS運営委員会について 3. ISAS2.0 Expert Panelメンバー訪問日程(案)について 4. 東洋大学スーパーグローバル大学創成支援事業セミナー2019について
第3回	2019年9月9日 (メール会議)	1. ISAS2.0最終報告書について 2. ISAS2.0ラーニングバッジの授与について
第4回	2019年12月19日 (メール会議)	1. ISAS2.0関連の報告書のウェブサイト公開について 2. ISAS2.0最終報告書(日本語版)の追加的校正について

■外部ジャーナル・広報物への本取組の掲載実績

IAU Newsletter February 2020

柔軟な国際編転入制度の取組の状況

2019年、本学で初となる海外指定校型国際編転入学試験を実施した。渡日前入試による国際編入者、転入者を増やす方策として、本学は香港に的を絞り、国立大学の附属である短期大学を海外指定校として編入学志望者を募集した。香港には現在22の学位授与高等教育機関があり(香港政府教育局ウェブサイトによる)、そのうち国立の4年制大学が8大学しか存在せず、大学進学は狭き門となっている。そのため、香港では短大終了後、国内や海外の4年制大学へ編入する学生が多い。

各学部の参画状況は、3年次編入として経済学部、経営学部、社会学部、国際観光学部の4学部6学科、また、2年次編入として経済学部、法学部、国際観光学部、生命科学部、食環境科学部の5学部7学科がそれぞれ若干名で募集した。

また、柔軟な国際編入のひとつの形として授業料徴収型の学生も本学への編入生とみなすことができる。本学はアメリカ合衆国に拠点を持つ3つの機関(①ISEP、②CISアブロード、③IESアブロード)と協定を結んでおり、こうしたコンソーシアムや団体等の加盟校から、授業料徴収型の留学生を1学期間あるいは1年間受け入れている。2014年のSGU採択以来、海外における本学の知名度が上がってきていること、また授業料が米国などに比べると比較的安価であること等の要因から、年々、授業料徴収型での受入人数が増加してきている。2019年11月時点では、2020年度春学期の交換留学生の受入には授業料徴収型の学生11名の出願があった。残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大により辞退者が相次いだ。今後もコンソーシアムのみならず、協定校からも 授業料徴収型の交換留学生の増加が見込める授業料徴収型の交換留学生の増加が見込める。

■指定校型国際編入生の受入に向けての学内整備と指定校開拓(2018～2019年度)

実施時期	取組内容	備考
11月～2月	国際課兼務者との情報共有及び各学部との個別協議 留学フェア等に参加し、海外指定校候補校開拓・視察	
12月	学部長会議を通じた導入検討依頼	依頼日 2018年12月21日
2月	国際連携推進委員会で集約状況報告・協議	開催日 2019年2月22日
3月～4月	「入試要項」の作成及び修得単位の取扱いについて取り纏め	
4月	「入試要項」を国際連携本部会議で承認	開催日 4月19日
5月	「推薦基準依頼文書」の取り纏め	
6月	海外協定校等への周知	送付日 6月11日

資料編①

学術交流協定校協定締結一覧

〔2020年3月31日現在〕〔国別締結日順〕

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
1	アイルランド	ダブリンシティ大学	大学間	1990年9月10日	○	○	
2		リムリック大学	大学間	2011年3月3日	○	○	
3		モンタナ大学	大学間	1987年3月12日	○	○	
4		オレゴン州立大学	大学間	1992年4月27日	○	○	
5		ミズーリ大学セントルイス校	大学間	1995年5月17日	○	○	
6		日本政策投資銀行	機関	2005年2月28日	○	-	
7		ISEP(アイセップ)	コンソー シアム	2005年3月8日	-	○	ISEP-Direct との合意書(2008年1月29日)、ISEP-International-to-International との合意書(2013年10月28日)あり。
8	アメリカ	NCPPP(米国 PPP 協会)	機関	2007年9月27日	○	-	
9		ウィノナ州立大学	大学間	2009年5月5日	○	○	
10		メリヴィル大学	大学間	2010年1月11日	○	○	
11		テネシー大学ノックスビル校	大学間	2010年11月10日	○	○	
12		リンゼイウィルソン大学	大学間	2010年11月19日	○	○	
13		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	大学間	2011年3月16日	○	○	
14		ポートランド州立大学	大学間	2012年11月26日	○	-	
15		ルイスクラーク州立大学	大学間	2013年6月26日	○	○	
16		パデュー大学ノースウェスト校	大学間	2015年1月23日	○	○	
17		プレスビテリアン・カレッジ	大学間	2015年4月6日	○	○	
18		チャタム大学	大学間	2016年12月13日	-	○	
19		ジョンソン・アンド・ウェールズ大学	大学間	2017年5月31日	-	○	
20		カレッジ・オブ・ザ・デザート	大学間	2017年8月7日	○	○	
21		ネブラスカ大学カーニー校	大学間	2017年9月11日	○	○	
22		ノースアラバマ大学	大学間	2017年9月22日	○	○	
23		ヒューストン大学	大学間	2017年9月28日	○	-	
24		ウェストテキサス A&M 大学	大学間	2017年11月21日	-	○	
25		カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	大学間	2017年11月29日	○	○	
26		カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校	大学間	2018年1月5日	○	○	
27		フォックス・バレー・テクニカル・カレッジ	大学間	2018年3月15日	○	○	
28		ウェスタンミシガン大学	大学間	2018年3月26日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
29		オーガスタナカレッジ	大学間	2018年5月30日	○	○	
30		コロラド大学コロラドスプリングス校	大学間	2018年6月24日	○	○	
31		ハートウィックカレッジ	大学間	2018年7月23日	○	○	
32		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ	大学間	2018年7月25日	○	※	※一方向の授業料負担型留学
33		ニューヨーク州立大学ブロックポート校	大学間	2018年8月24日	-	○	
34		カリフォルニア州立大学スタニスラウス校	大学間	2018年9月4日	○	○	
35		ペース大学	大学間	2018年9月13日	○		
36		ワシントンセンター	機関	2018年10月15日	○	-	
37		IESアブロード	コンソー シアム	2018年11月8日	○	-	
38		ハワイパシフィック大学	大学間	2019年1月8日	○	○	
39		ボストン大学	大学間	2019年2月4日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
40		フラットヘッドバレーコミュニティカレッジ	大学間	2019年2月15日	○	○	
41		カリフォルニア大学サンタバーバラ校	大学間	2019年4月11日	○	-	
42		CISアブロード	コンソー シアム	2019年6月11日	○	-	
43		サンフランシスコ州立大学	大学間	2019年7月3日	○	-	
44		カリフォルニア大学サンディエゴ校エクステンション	大学間	2019年8月7日	○	-	
45		ノースウェストミズーリ州立大学	大学間	2020年3月3日	○	○	
46	イギリス	カーディフ大学	大学間	2010年11月1日	○	○	
47		ヨークセントジョン大学	大学間	2012年4月19日	○	○	
48		セントラル・ランカシャー大学	大学間	2013年7月16日	○	○	
49		コベントリー大学	大学間	2017年11月20日	○	-	
50		ノーサンブリア大学	大学間	2019年4月2日	○	○	
51		リバプール大学	大学間	2019年4月11日	○	-	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
52	イギリス	エジンバラ大学	大学間	2020年2月14日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
53	イタリア	ロムアルド・デル・ピアンコ財団	機関	2014年11月27日	○	-	
54		フィレンツェ大学	大学間	2016年5月2日	○	○	
55		トリノ大学	大学間	2016年11月30日	○	○	
56		ボローニャ大学	大学間	2018年3月12日	○	○	
57		カメリーノ大学	大学間	2018年4月24日	○	-	
58		ローマ・ラ・サピエンツァ大学	大学間	2018年5月11日	○	-	
59		ベネツィア大学	大学間	2018年6月4日	○	○	
60		サレント大学	大学間	2019年12月20日	○	○	
61	インド	インド工科大学マドラス校	大学間	2011年12月22日	○	-	
62		マンガラン教育協会,(マンガラン工科大学)	大学間	2012年5月21日	○	-	
63		ケララ大学	大学間	2012年6月8日	○	-	
64		インド工科大学デリー校	大学間	2012年8月31日	○	-	
65		スリー・チトラ・トリニチュアル医療科学技術研究所	大学間	2015年9月14日	○	-	
66		ジャワハルラー・ネルー大学	大学間	2017年5月8日	○	-	
67	インドネシア	スラバヤ工科大学	大学間	1994年1月1日	○	-	
68		マラナタ基督教大学	大学間	2016年6月16日	○	-	
69		ガジャマダ大学	大学間	2016年8月24日	○	○	
70		国立デンパサル・ヒンドゥー大学	大学間	2016年11月10日	○	-	
71	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	大学間	2010年11月22日	○	-	
72		ウズベキスタン国立世界言語大学	大学間	2019年11月20日	○	-	
73	オーストラリア	シーキュー大学	大学間	1997年9月8日	○	○	旧セントラルクイーンズ大学
74		サンシャインコースト大学	大学間	2008年3月13日	○	○	
75		インターナショナル・カレッジ・オブ・マネージメント・シドニー	大学間	2015年10月14日	○	○	
76		サザンクロス大学	大学間	2016年4月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣可
77		ディーキン大学	大学間	2016年4月25日	※	-	※授業料学生負担の学生派遣可
78		ニューカッスル大学	大学間	2017年12月22日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣可
79		カーティン大学	大学間	2018年8月20日	-	○	
80	オーストリア	アッパーオーストリア大学シュタイヤー校	大学間	2019年3月19日	○	○	
81		FHWien der WKW経営・コミュニケーション応用科学大学	大学間	2019年4月22日	-	○	
82		ザルツブルク大学	大学間	2019年8月1日	○	○	
83	オランダ	ロッテルダム応用科学大学インターナショナルビジネススクール	大学間	2012年5月14日	○	○	
84		アムステルダム応用科学大学	大学間	2014年11月22日	○	○	
85		フォンティス・アカデミー	大学間	2016年3月31日	○	○	
86		ティオ応用科学大学	大学間	2017年11月27日	○	○	
87		HZ応用科学大学	大学間	2019年7月25日	○	○	
88	カナダ	トンプソンリバーズ大学	大学間	2007年6月15日	-	○	
89		マニトバ大学	大学間	2011年3月31日	○	-	
90		クワンテンボリテクニク大学	大学間	2012年2月16日	○	○	
91		サスカチュワン大学	大学間	2013年2月13日	○	-	
92		エドモントン・コンコルディア大学	大学間	2015年1月23日	○	○	
93		レイクヘッド大学	大学間	2016年6月7日	○	○	
94		バンクーバーアイランド大学	大学間	2017年2月28日	○	-	
95		ウィニペグ大学	大学間	2017年6月16日	○	-	
96		レスブリッジ大学	大学間	2017年6月16日	○	-	
97		ブロック大学	大学間	2017年8月23日	○	○	
98		ダグラスカレッジ	大学間	2018年3月22日	○	○	
99		ジョージブラウンカレッジ	大学間	2019年3月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
100		セント・メアリーズ大学	大学間	2019年3月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
101	カンボジア	王立ブノンベン大学	大学間	2015年1月26日	○	-	
102	ケニア	ジョモ・ケニヤッタ農工大学	大学間	2016年11月11日	○	-	
103	スイス	ルツェルン大学	大学間	2012年1月24日	○	○	
104		国連欧州経済委員会 PPP 推進局 (UNECE PPP)	機関	2011年7月4日	○	-	
105	スウェーデン	リンネ大学	大学間	2016年9月27日	○	-	
106	スペイン	デウス大学	大学間	2016年8月31日	-	○	
107	スロベニア	リュブリャナ大学	大学間	2013年2月26日	○	-	
108	タイ	アジア工科大学院	大学間	2007年4月5日	○	-	
109		チェンマイ大学	大学間	2012年12月22日	○	○	
110		タマサート大学	大学間	2016年12月16日	○	○	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
111	タイ	プラナコン・シー・アユタヤ・ラチャバット大学	大学間	2017年3月14日	○	-	
112		チュラロンコン大学	大学間	2018年10月30日	○	○	
113		アサンブション大学	大学間	2020年3月12日	○	-	
114	台湾 (台湾省／中国)	天主教輔仁大学	大学間	2000年6月20日	○	○	
115		中国文化大学	大学間	2012年2月8日	○	○	
116		龍華科技大学	大学間	2012年7月18日	○	-	
117		東海大学	大学間	2016年7月12日	○	○	
118		義守大学	大学間	2017年6月12日	○	○	
119		国立中興大学	大学間	2018年2月9日	○	○	
120		実践大学	大学間	2018年2月22日	○	○	
121		中原大学	大学間	2018年6月26日	○	○	
122		弘光科技大学	大学間	2019年2月14日	○	-	
123		静宜大学	大学間	2019年2月21日	○	○	
124		佛光大学	大学間	2019年4月3日	○	-	
125	韓国	韓国外語大学	大学間	1995年8月30日	○	○	
126		東国大学	大学間	1995年8月31日	○	○	
127		大邱大学	大学間	2003年6月27日	○	○	
128		平澤市	都市	2007年8月16日	○	-	
129		建国大学	大学間	2008年11月10日	○	○	
130		金剛大学	大学間	2011年2月1日	○	○	
131		韓南大学	大学間	2012年1月11日	○	○	
132		成均館大学	大学間	2012年9月6日	○	○	
133		円光大学	大学間	2012年12月20日	○	○	
134		仁荷大学	大学間	2013年1月10日	○	○	
135		世宗大学	大学間	2018年6月27日	○	○	
136		釜山外国語大学	大学間	2018年10月31日	○	○	
137		漢陽大学	大学間	2018年11月8日	○	○	
138		国民大学	大学間	2019年11月20日	○	○	
139	中国	上海對外貿易大学	大学間	1985年10月19日	○	-	
140		中国人民大学	大学間	1997年9月29日	○	○	
141		大連外国語大学	大学間	2003年8月10日	○	○	
142		大連理工大学	大学間	2006年6月14日	○	-	
143		吉林大学	大学間	2012年3月13日	○	-	
144		中国海洋大学	大学間	2015年6月24日	○	○	
145		上海工程技術大学	大学間	2015年7月16日	○	-	
146		北京語言大学	大学間	2015年9月15日	○	○	
147		上海外国語大学	大学間	2016年5月10日	○	○	
148		北京理工大学	大学間	2016年10月27日	○	○	
149		香港中文大学深圳校	大学間	2018年4月19日	○	○	
150		暨南大学	大学間	2018年5月31日	○	○	
151		鄭州大学西亞斯國際学院	大学間	2018年6月15日	○	○	
152		温州大学	大学間	2019年3月8日	○	-	
153		ノッティンガム大学寧波校	大学間	2019年6月28日	○	○	
154		マカオ科技大学	大学間	2019年7月8日	○	○	
155		香港公開大学	大学間	2019年9月30日	○	○	
156		大連海事大学	大学間	2019年11月19日	○	○	
157		西安外国語大学	大学間	2019年12月19日	○	○	
158		華北理工大学	大学間	2019年12月25日	○	○	
159		上海大学	大学間	2020年3月10日	○	○	
160		山東大学	大学間	2020年3月23日	○	○	
161		大連東軟信息学院	大学間	2020年3月30日	○	○	
162	ドイツ	マールブルク大学	大学間	1990年4月19日	○	○	
163		バイロイト大学	大学間	2015年2月11日	○	○	
164		ミュンヘン応用科学大学	大学間	2019年2月8日	-	○	
165	日本	UMAP(アジア太平洋大学交流機構)	コンソーシアム	2014年3月3日	-	○	国際事務局の所在国(2016～2020年)
166		国連ユースボランティア関連(関西学院大学、大阪大学、国際教養大学、上智大学、筑波大学、明治大学、明治学院大学、立教大学)	コンソーシアム	2016年6月3日	○	-	
167		大学コンソーシアム	コンソーシアム	2016年10月11日	○	-	ダルマブルサダ大学との協力強化のための大学コンソーシアム
168		富山県富山市	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
169	日本	群馬県板倉町	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
170		一般財団法人国際協力推進協会	機関	2017年6月15日	※	-	
171	ニュージーランド	ユニテック工科大学	大学間	2013年1月17日	○	-	
172	ノルウェー	トロンムソ大学	大学間	2017年10月10日	○	○	
173	ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー原子核研究所	機関	2012年5月7日	○	-	
174		ブダペストメトロポリタン大学	大学間	2019年2月4日	○	○	
175	バングラデシュ	シャージャラル科技大学	大学間	2015年5月28日	○	-	
176	フィリピン	カラガ州立大	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
177		サンホセリコルトス大学	大学間	2011年11月14日	○	-	
178		セントジョセフ工科大学	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
179		ファーザー・サトゥルニノ・ユリオス大学	大学間	2011年11月14日	○	-	
180		ブトゥアン市	都市	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
181		フィリピン大学ディリマン校	大学間	2012年6月21日	○	-	
182		フィリピン大学セブ校	大学間	2013年11月14日	○	-	
183		セブ州	都市	2016年10月22日	○	-	
184		ブトゥアン市	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
185		デ・ラ・サール大学ダスマリニャス校	大学間	2017年11月23日	○	-	
186		マプア大学	大学間	2019年1月22日	○	-	
187		セブ技術大学	大学間	2019年11月20日	○	-	
188	フィンランド	ハーガ = ヘリア応用科学大学	大学間	2016年8月15日	○	-	
189		メトロポリタ応用科学大学	大学間	2018年3月27日	○	-	
190		ヤムク応用科学大学	大学間	2018年10月17日	○	○	
191	ブラジル	カンピーナス大学	大学間	2017年10月27日	○	○	
192		サンパウロ大学	大学間	2018年3月13日	○	○	
193	フランス	ストラスブール大学	大学間	1985年12月9日	○	○	
194		ナント大学	大学間	2012年12月7日	-	※	※対象は BNC と学際融合
195		ソルボンヌ大学	大学間	2013年3月19日	○	※	前パリ第6大学、パリ第6大学とパリソルボンヌ第4大学が合併し、ソルボンヌ大学と名称変更 ※対象は BNC と学際融合
196		IAU (国際大学協会)	コンソーシアム	2014年11月21日	○	-	
197		リール大学	大学間	2015年11月27日	○	○	前シャルル・ド・ゴール大学(リール第3大学)。リール第1大学、リール第2大学、リール第3大学が合併し、リール大学と名称変更
198		パリ・デイドロ大学(パリ第7大学)	大学間	2017年2月20日	○	○	
199		レンヌ第一大学	大学間	2019年9月30日	○	○	
200	ブルガリア	聖クリメント・オフリツキ・ソフィア大学	大学間	2015年3月17日	○	○	
201		ソフィア工科大学	大学間	2019年2月1日	○	-	
202		バイシイ ヒレンダルスキー ブロブディフ大学	大学間	2020年3月	○	-	コロナウイルスの影響で大学閉鎖中のため、正確な署名日は連絡待ち
203	ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校	大学間	2002年4月2日	○	-	
204		FPT 大学	大学間	2016年9月12日	-	○	
205		日越大学	大学間	2018年2月16日	○	-	
206	ベルギー	トマスモア応用科学大学	大学間	2018年12月10日	○	○	
207		リエージュ大学	大学間	2019年7月9日	○	○	
208	マレーシア	マラヤ大学	大学間	2012年4月28日	○	-	
209		テイラーズ大学	大学間	2015年11月19日	○	○	
210		マレーシア工科大学	大学間	2016年12月16日	○	-	
211		ヘルプ大学	大学間	2017年7月28日	○	-	
212		サンウェイ大学	大学間	2017年10月6日	○	-	
213		マレーシア国民大学	大学間	2019年4月15日	○	○	
214		ノッティンガム大学マレーシア校	大学間	2020年3月2日	-	○	
215	メキシコ	モンテレイ大学	大学間	2018年7月19日	○	○	
216	リトアニア	ヴィルニウス大学	大学間	2020年2月12日	○	○	
217	ルーマニア	ティミショアラ工科大学	大学間	2012年6月22日	○	-	
218		ブカレスト経済大学	大学間	2018年4月20日	○	○	
219		ブカレスト大学	大学間	2019年4月22日	○	-	

※網掛けは2019年度新規協定締結校(33)

学部・研究所等協定締結一覧

〔2020年3月31日現在〕〔学部別国別締結日順〕

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
1	文学部	インドネシア	国立デンパサール・ヒンドゥー大学	国立デンパサール・ヒンドゥー大学神学部と東洋大学文学部との学術交流に関する協定	共同研究等の学術交流	2016年11月21日
2		中国	復旦大学	中国復旦大学外国語・文学部中国語・文学学科、史学科、哲学専攻と日本国東洋大学文学部との相互学生交換	学生交換等の学術交流	2016年4月28日
3	文学部 文学研究科	スイス	チューリッヒ大学	チューリッヒ大学と東洋大学との交換協定書	学生交換等の学術交流	2018年10月16日
4	経済学部	イギリス	ウォーリック大学英語教育センター	東洋大学経済学部とウォーリック大学英語教育センター間における短期プログラムに関する協定書	教育	2002年8月19日
5		中国	対外経済貿易大学国際学院	「中国研修プログラム」に関する協定書	教育(短期研修)	2012年3月19日
6	経営学部・ 経営学研究科	タイ	泰日工業大学	泰日工業大学経営学部と東洋大学経営学部及び東洋大学大学院経営学研究科との学術協力交流に関する覚書	学術交流、学生交流	2016年10月7日
7	経営学部	イギリス	オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ	ハートフォード・カレッジ・プログラム(英国イングランド、オックスフォード、キャット・ストリート、ハートフォード・カレッジ)と東洋大学(日本)との間の海外留学プログラムに関する協定	学生交流	2018年8月22日
8	法学部	イギリス	ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン心理学・言語科学学部	東洋大学法学部とユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン心理学・言語科学部との間における東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施に関する協定書	短期語学研修	2013年5月8日
9		中国	厦門大学法学院	中国厦門大学法学院と法学部との交流協定	学術交流活性化(中国法・日本法教育)	2008年12月13日
10			西北政法大学 経済法学院	日本国東洋大学法学部と中国西北政法大学経済法学院の教育研究交流協定	研究交流	2018年6月1日
11			遼寧大学法学院	東洋大学法学部(日本)と遼寧大学法学院(中国)の教育研究交流協定	研究交流	2018年9月7日
12		ドイツ	異文化コミュニケーション協会	東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施のためにルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘンと異文化コミュニケーション協会が合同で開講するドイツ語セミナーに関する協定書	短期語学研修	2014年3月27日
13		ノルウェー	トロムソ大学	トロムソ大学人間社会科学部と東洋大学法学部の学術協力に関する協定	教育・学術交流および国際協力進展(包括的学術交流)	2014年5月8日
14	国際地域 学部	アメリカ	ノースウエスト大学	東洋大学国際地域学部とノースウエスト大学との学生交換協定	学生交換・学生派遣	2016年12月14日
15		インドネシア	バラヤンガン・カトリック大学工学部	東洋大学国際地域学部とバラヤンガン・カトリック大学工学部間における学術交流協定書	教育・学術交流	2003年8月28日
16		オーストリア	ザルツブルグ応用科学大学	東洋大学国際地域学部とザルツブルグ応用科学大学との学生交換協定	学生交換	2016年12月5日
17			オーバーエスターライヒ州応用科学大学	オーストリア・オーバーエスターライヒ州応用科学大学と東洋大学との学部間協定	学生交換	2017年4月6日
18		カナダ	センテニアルカレッジ	東洋大学国際地域学部とセンテニアルカレッジとの学生交換協定	学術交流・学生交換	2016年11月28日
19		韓国	慶熙大学校	日本国東洋大学国際地域学部と韓国慶熙大学校ホテル観光大学との間における交流に関する協定書	教育・学術交流	2003年3月18日
20		スウェーデン	リンネ大学社会科学部	東洋大学国際地域学部(日本)とリンネ大学社会科学部(スウェーデン)との学術交流及び学生交換に関する協定	学生交換・学術交流	2016年9月26日
21		タイ	チュラロンコーン大学政治学部	東洋大学国際地域学部とチュラロンコーン大学政治学部との協定締結に関する覚書	包括的学術交流・学生交換・共同研究	2016年7月1日
22		中国	南開大学国際商学院	南開大学国際商学院と東洋大学国際地域学部との交流に関する覚書	教育・学術交流	2002年10月6日
23		フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	ハーガ＝ヘリア応用科学大学と東洋大学国際地域学部の学生交換に関する協定	学生交換	2016年8月15日
24		ベトナム	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所と東洋大学国際地域学部の包括的学術協定	教育・学術交流	2015年11月27日
25			国立ハノイ建設大学	東洋大学国際地域学部と国立ハノイ建設大学建築学部との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月15日
26			ハノイ建築大学	東洋大学国際地域学部とハノイ建築大学との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月23日
27		リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	東洋大学とヴィータウタス・マグヌス大学との協定締結に関する覚書	包括協定・学生交換	2017年3月14日
28	国際学部	アメリカ	ワシントン大学コンティナム・カレッジ	東洋大学国際学部及びワシントン大学コンティナム・カレッジ協定	包括協定	2017年9月12日
29			ミネソタ州立大学マンケート校	ミネソタ州立大学と東洋大学 学生および教員交換プログラム協定	包括協定、学生交換、学生派遣	2018年2月19日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
30	国際学部	イギリス	ケント大学	日本国東洋大学国際学部と英国ケント大学との間の学生交換及び短期留学プログラムに関する協定書	学生交換・派遣	2017年11月1日
31			ウィンチェスター大学	ウィンチェスター大学協定書	包括協定	2018年7月12日
32			コベントリー大学	コベントリー大学と東洋大学との学生交換に関する協定書	学生交換	2018年7月16日
33		インドネシア	スプラスマレット大学	スプラスマレット大学と東洋大学国際学部における覚書要旨	包括協定	2018年5月25日
34				スプラスマレット大学農学部と東洋大学国際学部における覚書要旨	学生交換	2019年1月19日
35		オーストラリア	クイーンズランド大学	Study Abroad Agreement	学生派遣	2018年4月24日
36			モナシュ大学	モナシュ大学(オーストラリア)と東洋大学国際学部の留学生受入れ協定	学生受入	2019年3月1日
37		オランダ	アムステルダム応用科学大学、ビジネス・経済学部	東洋大学国際学部とアムステルダム応用科学大学ビジネス・経済学部との学生交換協定	学生交換	2017年12月21日
38		カナダ	ビクトリア大学	東洋大学国際学部とビクトリア大学との学生派遣に関する協定	学生派遣	2017年10月4日
39			セントローレンスカレッジ	セントローレンスカレッジ及び東洋大学国際学部の間の了解覚書	包括協定	2018年8月14日
40		スリランカ	スリランカ・セナワタ都市リソースセンター	スリランカ・セナワタ都市リソースセンターと東洋大学国際学部との MOU	包括協定	2017年7月10日
41		ニュージーランド	オタゴ大学	オタゴ大学(ニュージーランド)と東洋大学(日本)の留学協定	学生交換	2019年2月13日
42		フィンランド	ラハティ国民高等学校	ラハティ国民高等学校と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2017年8月18日
43			メトロポリタ応用科学大学	メトロポリタ応用科学大学と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2018年4月25日
44		フランス	シアンスポ・トゥールーズ大学	シアンスポ・トゥールーズ大学と東洋大学国際学部間の学生交換に関する合意書	学生交換	2017年5月22日
45			セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ政治学院	セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ政治学院と東洋大学国際学部との協定書	包括協定、学生交換	2017年9月8日
46			リール・カトリック大学	東洋大学(日本国 東京)とリール・カトリック大学(フランス リール)の間の協定書	包括協定、学生交換	2017年9月15日
47			ストラスブール大学	グローバル・イノベーション学科の学生受入れのための追加協定	学生受入	2018年4月23日
48		ブルガリア	プロブディフ大学史学・哲学部	プロブディフ大学歴史哲学部と東洋大学国際学部間の交流協定要旨	包括協定	2018年8月2日
49		ポーランド	ヴロツワフ経済大学	ヴロツワフ経済大学との交換協定	学生交換	2018年4月1日
50			クラフク経済大学	枠組協力協定 東洋大学とクラフク経済大学の間で締結される「ワーキングプログラム第1号(付随文書)」	学生交換	2019年5月10日
51		マレーシア	マラ工科大学	友好・協力・相互理解の促進、学術・文化・科学思想及び人材の交流に関する覚書	研究交流	2019年11月6日
52	国際学部・国際学研究科	ノルウェー	オスロ首都大学	オスロ首都大学 社会科学ビジネススクール及び社会福祉・児童福祉・社会政策学科と東洋大学 国際学部および国際学研究科の間の覚書	包括協定	2019年1月7日
53	国際観光学部	台湾	文藻外語大学	文藻外語大学と東洋大学との間における包括的学術交流協定	学生交換	2017年9月20日
54		香港	香港理工大学	香港理工大学と東洋大学との学生交換協定	学生交換	2017年12月14日
55	ライフデザイン学部	インドネシア	国立デンパサール・ヒンドゥー大学	国立デンパサール・ヒンドゥー大学神学部と東洋大学ライフデザイン学部との学術交流に関する協定	学術交流	2018年12月6日
56		韓国	社団法人韓日福祉経営協議会	東洋大学ライフデザイン学部と社団法人韓日福祉経営協議会の連携に関する協定	福祉における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2006年1月24日
57		中国	北方工業大学建築芸術学院	東洋大学ライフデザイン学部と北方工業大学建築芸術学院の連携に関する協定	相互に連携して、双方の学問領域における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2013年6月6日
58	ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学と東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科との包括学術協定及び学生交換に関する協定	包括・学生交換	2018年12月1日
59	情報連携学部	ウズベキスタン	トリノ工科大学タシケント校	東洋大学情報連携学部及び情報連携学研究所とトリノ工科大学タシケント校との間の学術協力および交流に関する協定	学術交流	2018年4月9日
60	文学研究科 インド哲学仏教学専攻	韓国・中国	金剛大学校大学院社会福祉仏教学科 中国人民大学宗教学高等研究院	大学院生交流ならびに学術会議の共同開催に関する覚書	教育・学術交流	2012年6月22日
61	文学研究科 哲学専攻	オーストリア	ウィーン大学哲学・教育学部哲学科	学術協力交流協定	教育・学術交流	2015年5月21日
62	経営学研究科	タイ	アサンブション大学 経営大学院	タイ王国アサンブション大学と東洋大学との学生交換に関する覚書	学生交換	2020年3月12日
63	国際地域学研究科国際観光学専攻	中国	暨南大学	暨南大学と東洋大学との学生交換に関する協定	学生交換	2018年2月28日
64	生命科学 研究科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学(伊)土木・産業工学部および東京・東洋大学(日)生命科学研究所間における学生交換合意書	学生交換	2018年12月19日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
65	生命科学 研究科	スリランカ	スリランカ国立基礎研究所	基本的合意書	学術交流	2019年4月1日
66		チリ	メリモユ生態系研究所メリ基礎研究センター	メリモユの生態環境科学調査機関と東洋大学生命科学研究科における共同協定	包括・学生交換	2017年4月1日
67	福祉社会デザイン研究科	韓国	社団法人未来福祉文化研究会	東洋大学福祉社会デザイン研究科と社団法人未来福祉文化研究会の連携に関する協定	教育・学術交流	2008年9月29日
68	社会福祉学研究科/福祉社会開発研究センター	台湾	朝陽科技大学	東洋大学と朝陽科技大学との学術協力・交流に関する合意書	研究交流	2020年3月26日
69	ライフデザイン学研究科	イタリア	ミラノ工科大学	ミラノ工科大学と東洋大学における学生交流に関する覚書	学生交流	2018年10月1日
70	ライフデザイン学研究科人間環境デザイン専攻	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	メカトロニクス共同研究・教育交流に関する覚書	研究交流	2019年3月18日
71	理工学研究科	ベトナム	外国貿易大学VJCC インスティテュート	学術交流及び協力に関する協定	学術交流	2019年9月16日
72	アジア文化 研究所	中国	遼寧大学日本研究所	日本国東洋大学アジア文化研究所と中国遼寧大学日本研究所との研究協力に関する協定	共同研究の実施	2017年11月18日
73		トルコ	アンカラ大学アジア太平洋協働研究センター	日本国東洋大学アジア文化研究所とトルコアンカラ大学アジア太平洋協働センターとの研究協力に関する協定書	研究協力	2019年1月10日
74	PPP研究 センター	アメリカ	フロリダ・アトランティック大学 Center for Urban Redevelopment and Education	協定書	研究協力	2009年3月30日
75			ジョージア工科大学 Center for Advanced Communications Policy	協定書	研究協力	2009年3月30日
76		スイス	国連欧州経済委員会 PPP 推進局 (UNECE PPP)	覚書	PPP 推進のための協力体制構築および国連 PPP 推進活動として認定	2011年7月4日
77		フィリピン	フィリピン大学フィリピン経済開発センター (PCED)	東洋大学 PPP 研究センターとフィリピン経済開発センターの技術提携・交流に関する協定 (AGREEMENT ON TECHNICAL OPERATION AND EXCHANGE)	研究協力	2011年11月15日
78	国際共生社会 研究センター 国際地域学 研究科	インドネシア	インドネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター	東洋大学国際共生社会研究センターとインドネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター間における学術交流協定	研究	2013年1月1日
79		タイ	コミュニティ組織機構	東洋大学国際共生社会研究センターとコミュニティ組織開発機構における都市とコミュニティ開発に関する共同研究協定	研究	2012年12月1日
80		中国	河南科技学院	東洋大学国際共生社会研究センターと河南科技学院間における共同研究協定	研究	2014年4月1日
81			四川大學香港理工大学災后重建与管理學院	東洋大学国際共生社会研究センターと四川大學香港理工大学災后重建与管理學院間における共同研究協定	研究	2014年8月1日
82		バングラディッシュ	バングラディッシュ工科大学土木工学部	東洋大学国際共生社会研究センターとバングラディッシュ工科大学間における学術交流協定	研究	2011年8月24日
83		イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	東洋大学およびローマ・ラ・サピエンツァ大学間の科学文化協定基本合意書	学術交流	2018年12月18日
84	バイオ・ナノエレクトロニクス 研究センター ／学際・融合 科学研究科	アメリカ	ライス大学機械工学・材料科学部	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2011年11月21日
85		イギリス	オックスフォード大学ニコル・グローベル研究グループ	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムのための共同研究に関する覚書	GCOE のための教育研究連携	2009年3月1日
86		イタリア	イタリア技術研究所	合意書	教育研究連携	2016年1月1日
87		インド	C.M.S. カレッジ	ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	教育研究連携	2014年4月1日
88			スリー・チトラ・トリニチュアル医療科学技術研究所	学術協力・交流に関する協定	教育研究連携	2015年5月22日
89			アミティ大学	ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	教育研究連携	2015年9月1日
90		ハンガリー	ラマイア工科大学	協定書	教育研究連携	2018年12月6日
91			ブタペスト工科大学	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2012年7月1日

※網掛けは2019年度新規協定締結校(6)

学生受入

■2019年度 受入留学生数

(人)

		正規生				交換留学生		総計	
		2019年5月1日現在		10月採用	9月入学	Ⅰ期	Ⅱ期		
		国費	私費	国費	私費				
学部	文学部		182			16	17	215	
	経済学部		119			11	13	143	
	経営学部		147			10	14	171	
	法学部		108			10	12	130	
	社会学部		149			9	13	171	
	国際地域学部		32					32	
	国際学部		150		13	18	27	208	
	国際観光学部		62			12	12	86	
	情報連携学部		76		6			82	
	ライフデザイン学部		12					12	
	理工学部		133					133	
	総合情報学部		84					84	
	生命科学部		40					40	
	食環境科学部		10					10	
	学部計		0	1,304	0	19	86	108	1,517
	大学院	文学研究科	3	27					30
社会学研究科			19	※1	4			23	
法学研究科			7					7	
経営学研究科			20					20	
工学研究科								0	
理工学研究科		1	12		3			16	
経済学研究科			32		1			33	
国際学研究科		2	11	※1	5			18	
国際観光学研究科		2	10		3			15	
国際地域学研究科		4	14					18	
生命科学研究科		1						1	
社会福祉学研究科			24					24	
ライフデザイン研究科			3					3	
福祉社会デザイン研究科		1	5					6	
学際・融合科学研究科		4	2	※2				6	
総合情報学研究科		1	10					11	
食環境科学研究科								0	
情報連携学研究科								0	
大学院計		19	196	※4	16	0	0	231	
総計		19	1,500	※4	35	86	108	1,748	

対象期間:2019年4月～2020年3月

－交換留学生(Ⅰ期):2019年4月1日受入

－交換留学生(Ⅱ期):2019年10月1日受入

※部局間交換留学生 27 名含む

※在学生からの国費採用のため、総計にはカウントしない。

資料編 ③

資料編
③

(人)

資料編 ③

期別	制度	国・地域	所属大学	部局間	受入年度				
					2015	2016	2017	2018	2019
I期	I S E P	オーストラリア	キャンベラ大学						1
			チャールズ・スタート大学			1			
		オーストリア	グラーツ工科大学						1
			グラーツ大学						1
		韓国	亜洲大学校						1
		スウェーデン	カールスタード大学			1			
		チリ	テクニカフェデリコサンタマリア大学						1
			バルパライソカトリック大学						1
		ブラジル	FAAP				1		
		メキシコ	レヒオモンタナ大学			1			
	U M A P	韓国	弘益大学校			1			
		タイ	チェンマイ大学					1	
			メーファールアン大学						1
		台湾	国立台湾科技大学					1	
			国立高雄第一科技大学			1			
		台湾	実践大学				1	2	
		メキシコ	コリマ大学					1	
			シウダーフアレス自治大学						1
			バハカリフォルニア自治大学				1		1
小 計 第I期					14	28	23	54	86
II期	協 定 校	アイルランド	ダブリンシティ大学		6	3	3		2
			リムリック大学		1	2			
		アメリカ	ウィノナ州立大学		2		2	3	
			ウェストテキサスA&M大学					2	
			カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校						2
			カリフォルニア州立大学モントレーベイ校		2		1	2	2
			ジョンソン・アンド・ウェールズ大学						1
			テネシー大学ノックスビル校					1	
			ハートウィック大学						1
			パデュー大学ノースウエスト校				1		
			ミズーリ大学セントルイス校			2	2		2
			モンタナ大学				3	2	
			ルイスクラーク州立大学		1			1	
		イギリス	カーディフ大学		1				
			コベントリー大学	★					1
			ヨークセントジョン大学		1	7	2	1	5
		イタリア	トリノ大学				1		
			ベネツィア大学						7
			ボローニャ大学						1
		オーストラリア	サンシャインコースト大学				1		
		オーストリア	オーバーエスターライヒ州立応用科学大学	★			1	1	3
		オランダ	アムステルダム応用科学大学			5	2	1	1
			ティオ応用科学大学					1	
			フォンティスアカデミー				1		
			ロッテルダム大学			3	2		
		カナダ	エドモントン・コンコルディア大学			1			
			クワレントポリテクニク大学		2	1		3	
			トンプソンリバーズ大学		1	2			2
			ブロック大学						1
			レイクヘッド大学					1	
		韓国	仁荷大学						2
			円光大学				2	2	
			建国大学				1	2	
			金剛大学				2		
			世宗大学						3
		スイス	ルツェルン大学					1	
		スペイン	デウス大学					1	3
		タイ	チュラロンコン大学	★			1		
		台湾	義守大学					2	2
			実践大学					2	2
			中原大学						2
			天主教輔仁大学		2	2	2	2	2
			東海大学						2

期別	制度	国・地域	所属大学	部局間	受入年度				
					2015	2016	2017	2018	2019
II	協定校	台湾	文藻外語大学	★					2
		中国	暨南大学						2
			大連外国語大学		2	2	2	2	
			中国人民大学			1	1	2	
			北京理工大学				4	1	
			北京語言大学			2			
			中国海洋大学				2		1
			鄭州大学西亜斯國際学院						2
		ドイツ	バイロイト大学		1	1	2	2	1
			マールブルク大学		1	2			3
		ノルウェー	オスロ首都大学	★					2
			トロムソ大学					3	
		フィンランド	ハーガ=ヘリア応用科学大学	★			3	3	1
			メトロポリタ応用科学大学	★				1	
		フランス	サンジェルマン・アン・レイ	★				3	3
			ストラスブール大学		5	3	5	3	6
			トゥールーズ大学	★				2	3
			パリ・ディドロ大学(パリ第7大学)					2	
			リール大学(旧シャルル・ド・ゴール大学・リール第3大学)					2	1
			リール・カトリック大学	★				1	2
		ベトナム	FPT大学						2
		マレーシア	テイラーズ大学						1
	I S E P	アメリカ	アイオワ大学			1			
			アッパーアイオワ大学					1	
			アバタチアン州立大学		1			1	
			イーストカロライナ大学		2	1		1	1
			イーストカロライナ大学シャーロット校						1
			イーストテネシー州立大学				1		
			インディアナ州立大学						
			インディアナ大学・パデュー大学フォートウェイン					1	
			ウィットワース大学		1				
			エッジウッド大学						1
			カリフォルニア州立大学イーストベイ校		1		1		2
			カリフォルニア州立大学サンマルコス校						2
			ケネソー州立大学				3		
			コロラド・メサ大学		2	2			
			サウスフロリダ大学		1				
			サザンコネティカット州立大学		1				
			サンディエゴ州立大学				1	2	
			セントラル・ミズーリ大学						1
			チャップマン大学					1	
			ドミニカン大学カリフォルニア校						1
			ノースカロライナ大学ウィルミントン校			1			
			ノースパーク大学						1
			バージニアコモンウェルス大学		1				
			バーモント大学		1	1			
			パデュー大学フォートウェイン校						1
			ハムリン大学		1				
			ハンプシャー大学					1	
			ブエルトリコ大学、マヤグエスキャンパス			1			1
			ブエルトリコ大学リオピエドラ校						1
			マンズフィールド大学					1	
			ミズーリ州立大学			2	2	2	
			メリヴィルカレッジ		1				
			メーランド大学ボルティモア校						1
			モンタナ大学			2			
			ルイジアナ州立大学			2			
			ルーサー大学						1
			レイクフォレスト大学				1		
			ワシントン州立大学			1			2
			南コネチカット州立大学			1			
		イギリス	セントラルランカシャー大学				1		1
			チェスター大学			1			1

期別	制度	国・地域	所属大学	部局間	受入年度				
					2015	2016	2017	2018	2019
Ⅱ <									

※アムステルダム応用科学大学は大学間と部局間両方協定がある。2019年度 I 期は部局間での受入。

■国費外国人留学生数

年度	受給者数(人)			給与総額	教育費総額			合計
	学部	大学院	受託学生					
2015	0	20(10)	2	37,950,000 円	12,092,500 円	(5,270,000 円※)	50,042,500 円	
2016	0	22(11)	3	37,914,000 円	14,415,500 円	(5,645,000 円)	52,329,500 円	
2017	0	25(13)	0	38,826,000 円	14,980,000 円	(5,660,000 円)	53,806,000 円	
2018	0	22(12)	0	35,322,000 円	12,965,000 円	(6,025,000 円)	48,287,000 円	
2019	0	23(13)	1	33,440,000 円	11,789,500 円	(5,620,000 円)	45,229,500 円	

() は内数で、スーパーグローバル大学創成支援事業による採用者数。

※内、2,505,000 円は大学負担。

■Toyo Summer／Winter Program 実績

(人)

	アメリカ	香港	韓国	中国	合計
Summer Program for IES 2019年5月27日～6月17日	15				15
Summer Program for CSUB 2019年6月3日～16日	3				3
Summer Program for OUHK 2019年6月3日～16日		40			40
Summer Program for Inha 2019年7月1日～14日			18	7	25
Winter Program for Hartwick 2020年1月7日～26日	17				17
Winter Program for Inha 2020年1月9日～22日			7	5	12
合計	35	40	25	12	112

■ショートビジット受入実績

日程	機関名	国・地域	参加者	内容	受入学部等
2019年4月9日	マレーシア国民大学 The National University of Malaysia	マレーシア	学部生7名	キャンパスツアー、両大学のサマープログラム紹介、フルスカラーシップ紹介	国際教育センター
2019年5月10日	リンネ大学 Linnaeus University	スウェーデン	学部生4名	リンネ大学からのショートビジット	国際学部
2019年5月13日、14日、16日	泰日工業大学 Thai-Nichi Institute of Technology	タイ	学生9名	2019Toyo University Spring Program	経営学部
2019年5月15日	シンシナティ大学 University of Cincinnati	アメリカ	学部生9名	キャンパスツアー、日米の大学生を取り巻く状況等に関する意見交換	国際教育センター
2019年5月16日	ノースウエスト大学 Northwest University	アメリカ	学部生16名	キャンパスツアー、留学に関する意見交換	国際教育センター
2019年5月20日	泰日工業大学 Thai-Nichi Institute of Technology	タイ	学部生48名	泰日工業大学との交流イベント	経営学部
2019年5月27日～6月17日	サザンメソジスト大学 Southern Methodist University	アメリカ	学部生15名	Faculty-ledサザンメソジスト大学短期特別研修	国際教育センター
2019年6月3日～6月16日	CSUB Summer Program	アメリカ	学部生3名	香港公開大学向けの夏季特別短期研修	国際教育センター
	OUHK Summer Program	香港	学部生40名		
2019年6月23日	カーティン大学 Curtin University	オーストラリア	学部生23名	カーティンシンポジウム	国際学部
2019年7月1日～7月14日	Inha Summer Program	韓国	学部生25名	仁荷大学向けの夏季特別短期研修	国際教育センター
2019年7月6日	上海大学 Shanghai University	中国	学部生24名	キャンパスツアー、日本語導入編クラス受講	国際教育センター
2019年7月31日～8月4日	チュラロンコーン大学 Chulalongkorn University	タイ	大学院生34名	キャンパスツアー、本学紹介	国際教育センター
2019年8月30日～9月5日	チェンマイ大学 Chiang Mai University	タイ	学部生4名	ミニマリストについての調査研究	国際教育センター
2019年10月16日	上海外国語大学 Shanghai International Studies University	中国	学部生8名 大学院生2名	上海外国語大学からのショートビジット	国際学部
2019年10月29日～12月24日	スコルコボ研究所 Skolkovo Institute of Science and Technology	ロシア	大学院生1名	研究のための受入	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター
2019年12月17日	JENESYS対象国の大学	JENESYS対象国	学部生46名	JENESYS2019事業太平洋諸国との青年交流	国際観光学部
2020年1月7日～1月26日	Hartwick Winter Program	アメリカ	学部生17名	ハートウィックカレッジ向けの冬季特別短期研修	国際教育センター
2020年1月9日～1月22日	Inha Winter Program	韓国	大学院生12名	仁荷大学向けの冬季特別短期研修	国際教育センター
2020年1月19日～1月24日	ルフナ大学 University of Ruhuna	スリランカ	学部生2名	途上国における住民のオーナーシップ向上を目指した水利用システムのデザイン手法の研究のための受入	国際学部
2020年2月5日	成均館大学 Sungkyunkwan University	韓国	大学院生3名	社会学研究科学長施策	社会学研究科

NEST履修者数／BJT団体受験結果／国際会館利用者数

■NEST履修者数

(人)

レベル	2017年度 春学期	2017年度 秋学期	2018年度 春学期	2018年度 秋学期	2019年度 春学期	2019年度 秋学期
J1	7	18	13	29	30	35
J2	18	15	23	13	35	20
J3	8	9	14	11	14	13
J4	19	6	7	8	9	15
合計	52	48	57	61	88	83
交換留学生数	68	64	88	78	123	117

2018年度までは、NEST受講にあたり「Integrated Japanese」の履修が必須であったが、2019年度より履修したい科目を自由に選択できるようになった。

■2019年度BJT団体受験結果(延べ人数)

(人)

学部／研究科	J1+	J1	J2	J3	総計
文学部	2	13	37	6	58
経済学部		1	10	3	14
経営学部	1	2	28	2	33
法学部		1	9		10
社会学部	2	4	26	3	35
国際学部		3	11	5	19
国際観光学部		2	10	2	14
国際地域学部			1		1
情報連携学部	1		7	1	9
理工学部		1	4	1	6
総合情報学部		1	5	3	9
食環境科学部	1				1
文学研究科			1		1
社会学研究科	1		3		4
社会福祉学研究科		1	3		4
総計	8	29	155	26	218

3.7%

13.3%

71.1%

11.9%

■2019年度国際会館利用者数

(人)

	春学期	秋学期
交換留学生	79	78
フルスカラシップ生	18	18
RA	5	4
外国人研究員等	2	2
ショートビジット引率等	1	1
合計	105	103

ECZ利用者数

(人)

キャンパス	課程名	学部／研究科名	学科／専攻名	春学期	秋学期	総計	
白山	第1部	文学部	哲学科	23	52	75	
			日本文学文化学科	41	49	90	
			英米文学科	68	44	112	
			史学科	117	110	227	
			教育学科	9	2	11	
			英語コミュニケーション学科	12	42	54	
			東洋思想文化学科	30	54	84	
			国際文化コミュニケーション学科	164	86	250	
		計	464	439	903		
		経済学部	経済学科	40	51	91	
			国際経済学科	155	143	298	
			総合政策学科	134	181	315	
			計	329	375	704	
		経営学部	経営学科	135	70	205	
			マーケティング学科	126	98	224	
			会計ファイナンス学科	121	90	211	
			計	382	258	640	
		法学部	法律学科	25	16	41	
			企業法学科	42	53	95	
			計	67	69	136	
		社会学部	社会学科	128	65	193	
			社会文化システム学科	100	78	178	
			社会福祉学科	42	28	70	
			メディアコミュニケーション学科	77	25	102	
			社会心理学科	98	33	131	
			計	445	229	674	
		国際地域学部	国際地域学科	38	32	70	
			国際観光学科	10	6	16	
			計	48	38	86	
		国際学部	グローバル・イノベーション学科	57	89	146	
			国際地域学科	1,050	480	1,530	
			計	1,107	569	1,676	
		国際観光学部	国際観光学科	499	306	805	
			計	499	306	805	
		合計				3,341	2,283
	第2部	文学部	日本文学文化学科	36	0	36	
			教育学科	1	27	28	
			東洋思想文化学科	1	0	1	
			計	38	27	65	
			経済学部	経済学科	8	31	39
				計	8	31	39
			経営学部	経営学科	11	15	26
				計	11	15	26
		法学部	法律学科	12	10	22	
			計	12	10	22	
		社会学部	社会学科	6	73	79	
			社会福祉学科	0	1	1	
			計	6	74	80	
		国際地域学部	国際地域学科	1	4	5	
			計	1	4	5	
		国際学部	国際地域学科	28	55	83	
			計	28	55	83	
		合計				104	216
大学院前期	国際学研究科	国際地域学専攻 博士前期課程	0	8	8		
		計	0	8	8		
	国際観光学研究科	国際観光学専攻 博士前期課程	0	28	28		
		計	0	28	28		
大学院後期	文学研究科	国際文化コミュニケーション専攻博士後期課程	29	34	63		
	合計				29	34	63
通信教育部	文学部	日本文学文化学科	1	0	1		
	合計				1	0	1
朝霞	第1部	ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	7	0	7	
		合計				7	0
川越	第1部	総合情報学部	総合情報学科	0	6	6	
		合計				0	6
板倉	第1部	生命科学部	応用生物科学科	0	1	1	
		合計				0	1
赤羽台	第1部	情報連携学部	情報連携学科	4	2	6	
		合計				4	2
白山	交換留学	交換留学	交換留学	745	1,105	1,850	
		合計				745	1,105
不明	不明	不明	不明	6	27	33	
		合計				6	27
2019年度総計				4,244	3,710	7,954	
2018年度総計				5,464	3,152	8,616	
対前年度比(人数)				-1,220	558	-662	
対前年度比(割合)				78%	118%	92%	

学生派遣

■大学全体の派遣者数

(人)

学部／研究科名		交換留学		認定留学		協定校 語学留学		短期研修		インターンシップ・ ボランティア		その他		総計	
		2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
学部	文学部第1部	19	17	8	2	37	51	140	135	19	9	17	15	240	229
	経済学部第1部		7	5	3	26	25	114	63	12	4	109	71	266	173
	経営学部第1部	2	5	2	1	23	10	45	63	7	6	19	44	98	129
	法学部第1部	6	7			6	6	45	44	4	3	22	13	83	73
	社会学部第1部	8	9	3	3	14	21	160	142	13	14	7	14	205	203
	理工学部	3	1	2		4	3	47	44	2	3	11	10	69	61
	国際地域学部	32	2	3	2	26	1	41	10	7	3	79	5	188	23
	国際学部	73	89	2	1	8	12	281	326	19	15	3	12	386	455
	国際観光学部	1	13		3	17	40	483	71	34	49	2	89	537	265
	生命科学部							12	12		1		1	12	14
	ライフデザイン学部	2	1		1	3	4	81	86	3	3	29	22	118	117
	総合情報学部				1	1	2	17	8	2	1	4	10	24	22
	食環境科学部							33	17	4		3	4	40	21
	情報連携学部							13	13	1	2	1	1	15	16
	文学部第2部					2		1	9			2	2	5	11
	経済学部第2部		1			3		6	4	1	1		4	10	10
	経営学部第2部	1	1			1	1	3	3		1	3	1	8	7
	法学部第2部					2	1	8	3		2	7		17	6
	社会学部第2部	1	1			1		6	8		3		2	8	14
	国際地域学部イブニングコース	4	1			6	1	13	1	1	2	4	2	28	7
	国際学部イブニングコース		3				1	20	32	4	7	4		28	43
	通信教育課程 法学部							1						0	1
	学部計	152	160	25	17	180	179	1,569	1,095	133	129	326	322	2,385	1,900
研究科	文学研究科		1									4	6	4	7
	社会学研究科											14	11	14	11
	法学研究科											4		4	0
	経営学研究科											1		1	0
	工学研究科													0	0
	理工学研究科							2				31	0	33	
	経済学研究科							3				11	2	11	5
	国際学研究科							4	2	1	2	7	14	12	18
	国際観光学研究科							1	6			2	2	3	8
	国際地域学研究科											22	9	22	9
	生命科学研究科													0	0
	社会福祉学研究科									1		1	1	2	1
	ライフデザイン学研究科							1				3	0	4	
	福祉社会デザイン研究科											1	4	1	4
	学際・融合科学研究科							1				4	0	5	
	総合情報学研究科				1							25	0	26	
	食環境科学研究科							4						4	0
	情報連携学研究科													0	0
	大学院計	0	1	0	1	0	0	9	15	2	2	67	18	78	131
総計		152	161	25	18	180	179	1,578	1,110	135	131	393	434	2,463	2,031

■交換留学派遣者数

(人)

		協定校・ コンソーシアム		国・地域	留学先大学	派遣年度					(人)
						2015	2016	2017	2018	2019	
Ⅰ期	協定校	オーストラリア	サンシャインコースト大学			2	1	1		1	
			シーキュー大学				5	7	5	1	
		韓国	仁荷大学校			2			5	3	
			韓国外国語大学校			2	2			1	
			建国大学校			2	2		2	1	
			成均館大学校			2	1	1	2	2	
			大邱大学校			1				1	
			東国大学校			1	1		1	2	
			韓南大学校			1				1	
		マレーシア	テイラーズ大学						1		
	UMAP	韓国	祥明大学校					1			
台湾		義守大学					1				
	実践大学							2			
小 計 Ⅰ期						13	12	11	18	13	
Ⅱ 期	協定校	アメリカ	ウィノナ州立大学				1	2	4		
			ウェストテキサスA&M大学						1	2	
			カリフォルニア州立大学スタニスラウス校							1	
			カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校						1	1	
			カリフォルニア州立大学ベイカーズフィールド校						2	1	
			カリフォルニア州立大学モントレーベイ校			2	2	8	2	1	
			ジョンソン・アンド・ウェールズ大学						2	2	
			チャタム大学							1	
			ニューヨーク州立大学ブロッホポート校							3	
			ネブラスカ大学カーニー校						1	2	
			ノースアラバマ大学						2	1	
			バドュー大学ノースウェスト校				1	1	1	2	
			プレスビテリアンカレッジ						1	1	
			ミズーリ大学セントルイス校				1			1	
			アリゾナ大学			2	2	2	2		
			モンタナ大学				2				
			リンゼイウィルソン大学			4	4	4	9	2	
			ルイスクラーク州立大学			1				1	

	協定校・ コンソーシアム	国・地域	留学先大学	派遣年度					
				2015	2016	2017	2018	2019	
Ⅱ期	協定校	カナダ	クワントレンポリテクニク大学			2			
			トンプソンリバーズ大学	3	3	2	1	1	
			マニトバ大学		2	1			
			レイクヘッド大学				2		
		アイルランド	ダブリンシティ大学	3	5	4	3	4	
			リムリック大学	1	1				
		イギリス	カーディフ大学	2		1	1	1	
			ヨークセントジョン大学	3	4	5	7	2	
		イタリア	トリノ大学					1	
			ボローニャ大学					4	
		オランダ	アムステルダム応用科学大学	1	1	1			
			フォンティスアカデミー			2	1	1	
			ロッテルダム大学	3	4	1			
			スイス	ルツェルン大学	1			2	1
			スペイン	デウス大学			2		
			ドイツ	バイロイト大学		2	1		1
				マールブルグ大学	2	2	2	2	5
			ノルウェー	トロムソ大学				2	2
			フィンランド	ヤムク応用科学大学					3
			フランス	ストラスブール大学	2			2	2
				ストラスブール大学EMS			1	1	1
				リール第3大学			1		
			ブルガリア	聖クレメント・オブリツキ・ソフィア大学		2	2	1	2
			インドネシア	ガジャマダ大学					1
			タイ	チェンマイ大学			2		1
			台湾	義守大学				1	1
				実践大学					1
				天主教輔仁大学		1			
			中国	上海外国語大学			1	1	
				大連外国語大学	1	1			
				中国人民大学		2		2	2
				北京語言大学		2		2	1
Ⅱ期	ISEP	アメリカ	アパラチアン州立大学				1		
			イーストテネシー州立大学					1	
			インディアナ州立大学						
			ウィチタ州立大学			1			
			ウェスタンカリフォルニア大学				1		
			ウェスタンコロライナ大学					1	
			カリフォルニア州立大学イーストベイ校		1		1		
			キャロルカレッジ			1			
			セント州立大学				1		
			コロラドメサ大学		1				
			サウスダコタ大学	1	3				
			サザンインディアナ大学				1		
			セントラル・ミズーリ大学	1		1			
			セントエドワーズ大学			1		1	
			テキサスA&M国際大学		1				
			トルーマン州立大学				1		
			ネブラスカウェズリアン大学			1		3	
			ネブラスカ大学オマハ校	1		1		4	
			ノーザンアリゾナ大学	1					
			ノーザン・コロラド大学	1					
			ノースウェストミズーリ大学		1		2		
			ノースカロライナ大学ウィルミントン校	1					
			ノースカロライナ大学シャーロット校				1		
			ハンブシャー大学				1		
			フォートヘイズ州立大学		2		1		
			フォートルイス大学			1			
			フロストバーク州立大学		1	1			
			ヘンドリックス大学	1		1		1	
			ミズーリ州立大学				1	1	
			メルヴィル大学	1	1				
			メンフィス大学					2	
			モンタナ大学	1				1	
			モンタナ州立大学				1		
			ルイジアナ・ノースウェスタン州立大学	3			1		
			ロアノーク大学		1	1			
		イギリス	エセックス大学					1	
		エストニア	タルトゥ大学				1*		
		オーストリア	グラーツ大学				1		
		スウェーデン	ウェスト大学					1	
			メラダーレン大学			1	1		
			リンネ大学			1	2		
			アルメリア大学			1			
ドイツ	ドルトムント工科大学					1			
フィンランド	オウル大学					1			
	トゥルク大学				1				
韓国	漢陽大学				1				
UMAP	タイ	スィーバトゥム大学					1		
		マハサラカーム大学				1			
		メーファールデン大学					2		
	フィリピン	アジアバシフィック大学					1		
	マレーシア	マレーシア国民大学				1			
	韓国	漢陽大学					1		
	台湾	国立彰化師範大学					1		
国立政治大学						1			
小 計 Ⅱ期			43	57	63	81	87		
国際教育センター主催 合計			56	69	74	99	100		
学部等主催 合計			-	-	3	53	61		
総合計			56	69	77	152	161		

*1名の学生が2大学へ留学。算入対象外。

■認定留学派遣者数

(人)

国・地域	留学先大学	派遣年度				
		2015	2016	2017	2018	2019
アメリカ	アリゾナ州立大学		1		1	1
	インディアナ州立大学			1		
	オレゴン大学	2	1	1	1	1
	カリフォルニア州立大学チコ校	1				
	カリフォルニア州立大学サンマルコス校			2	2	
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校					1
	カレッジ・オブ・ザ・デザート				6	9
	サンタモニカカレッジ				2	
	ニューヨーク州立大学オールバニ校				1	
	ネバダ大学リノ校				1	
	ノースアラバマ大学	1		1	1	
	ハイラインカレッジ				1	
	ハワイ大学ヒロ校			3	1	1
	ミシシッピ大学		1			
	モンタナ大学			1		1
カナダ	ダグラスカレッジ			1		
イタリア	サクロ・クオーレ・カトリック大学	1				
オーストラリア	オーストラリアカソリック大学				1	
	グリフィス大学			1	1	
	サザンクロス大学		1			
	シドニー工科大学				1	
	ディーキン大学		4		3	3
ニュージーランド	オタゴ大学				1	1
中国	華東師範大学中山兆路校区		1			
	中山大学		1			
	復旦大学				1	
認定留学 合計		5	10	11	25	18

■協定校語学留学派遣者数

(人)

国・地域	実施大学	派遣年度							
		2015	2016		2017		2018		2019
		秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期 秋学期
アメリカ	ポートランド州立大学	14		13	10	10	1	7	1 1
	ペース大学						1	8	2
カナダ	バンクーバーアイランド大学						19	7	13 6
	レスブリッジ大学						5	6	1
	ウィニペグ大学						19	14	16 15
	ブロック大学						3	10	10 13
	ジョージブラウンカレッジ								9
	セントメアリーズ大学								2
アイルランド	ダブリンシティ大学	15	11	19	19	22	12	6	13 10
イギリス	ヨークセントジョン大学	16		9	6	13	15	9	14 3
オーストラリア	ディーキン大学メルボルン					14	14	13	7 11
	ディーキン大学ジーロング					2		8	3 1
	サザンクロス大学リズモア					7	1	3	2 3
	サザンクロス大学ゴールドコースト						4	9	6 3
国際教育センター主催 協定校語学留学 合計		45	11	41	35	68	88	92	99 80
		45	52		103		180		179

■短期研修派遣者数

(国際教育センター主催 短期語学セミナー)

(人)

国・地域	実施大学	年度									
		2015		2016		2017		2018		2019	
		夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校						19				
	ポートランド州立大学	29	26	24	28						
	カレッジ・オブ・ザ・デザート							19	14	19	19
カナダ	トンプソンリバーズ大学	27		20		30					
	マニトバ大学	12		10		10		20	20	20	10
アイルランド	ダブリンシティ大学		28		24		24		24	14	24
イギリス	ウォーリック大学	23		14							
	サザンクロス大学					20		20			
オーストラリア	シーキュー大学		10								
	ディーキン大学									20	20
マレーシア	ヘルプ大学					13		9	10		
	サンウェイ大学									8	18
中国	北京語言大学		8	3							
台湾	天主教輔仁大学										8
国際教育センター主催 短期語学セミナー 合計		91	72	71	52	40	76	68	88	81	99
		163		123		116		156		180	

(国際教育センター主催 Diversity Voyage)

(人)

国・コース	年度									
	2015		2016		2017		2018		2019	
	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
フィリピン①	14	15	19	18	20	17	20	17	20	20
フィリピン②						7(※2)				20
マレーシア①	13	14	18	11	20	14	20	17	21	20
マレーシア②			12			7(※2)			20	
タイ	(※1)	20	19	20	20					
ラオス	19	19	20	19	20	8(※2)	20		19	13
インドネシア			20	14	20		19	12	20	
カンボジア					20	20	20	19	19	19
ブータン							20		19	
国際教育センター主催 Diversity Voyage 合計	46	68	108	82	120	73	119	65	158	72
	114		190		193		184		230	

(※1) 治安情勢悪化により派遣を中止

(※2) 上記の人数以外に、他大学の学生が合同参加

(学部等主催 短期研修)

(人)

			年度		
	2015	2016	2017	2018	2019
学部等主催 短期研修合計	366	491	1,119	1,238	700

■インターンシップ・ボランティア派遣者数

(人)

期間	国・地域	プログラム名	年度									
			2015		2016		2017		2018		2019	
			夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
短期	アメリカ	USA・LA “グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～	7	3	4		2	2	8	4	4	3
		USA・LA“アシスタントティーチャー”ボランティア										1
		USA・アンカレッジ ツーリズムインターンシップ			1				1			
		USA・ウッドインビル 食環境教育・研究施設インターンシップ					3		3			
		USA・シアトル・ウッドインビル海外インターンシップ～貿易ビジネス/社会福祉～								2		
		USA・グレイシャー国立公園 ホテルインターンシップ	2		4		1					
		USA・サンディエゴ ボランティア研修	3	6	8	3	7	7	6		5	2
		USA・サンディエゴ&LA 貿易&ロジスティックインターンシップ	2									
		USA・シアトル ボランティア研修(インターンシップ)	11	4	8	4	4	4	1		1	2
短期	アメリカ	USA・シアトル現地日系団体ボランティア～語学学校+広告メディア/高齢者福祉								1		
		USA・セーラム ワイナリーインターンシップ	1									
		USA・ポートランド ボランティア研修					8		7	10	5	3
		USA・ポートランド オーガニックレストラン&ケータリングインターンシップ	1									

期間	国・地域	プログラム名	年度									
			2015		2016		2017		2018		2019	
			夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
短期	カナダ	カナダ・ケローナ インターンシップ	17	7	6		2					
		カナダ・バンクーバー 幼児教育ボランティア	3	1	1	2	3	6	4	1	2	5
		ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～		1				1	1		1	
	スペイン	スペイン・セビリア フラメンコ博物館インターンシップ	1									
	オーストラリア	オーストラリア・シドニー 幼児教育ボランティア	5			2	3	3	2	3		1
		オーストラリア・ブリスベン(メルボルン) 自然環境保護ボランティア	1		2							
		オーストラリア・メルボルン(ブリスベン) 小学校ティーチングアシストインターンシップ	1	1								
	ニュージーランド	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～	1	1	1		1		1			1
	フィリピン	フィリピン農村発 起業家育成インターンシップ						3	3			
	ベトナム	ベトナム“グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～									1	2
	マレーシア	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～	1		1		1					
	台湾	台湾・台北ホテルインターンシップ			2							
	短期 合計			57	24	38	11	35	26	37	21	19
			81		49		61		58		39	
長期	アメリカ	ワシントンセンター	1		1		2		3			
	バングラデシュ(※1)	国連ユースボランティア	(1)									
	ウガンダ				1							
	タイ								1			
	ラオス										1	
	タイ	日本語パートナーズ(※2)					1		2		1	
	インドネシア								2			
国際教育センター主催 インターンシップ・ボランティア 合計			82		51		64		66		41	
学部等主催 インターンシップ・ボランティア 合計			86		97		133		133		90	
総計			168		148		197		199		131	

(※1) 治安情勢悪化により派遣を中止

(※2) 大学推薦プログラム派遣者

■その他 海外派遣者数

(人)

	年度				
	2015	2016	2017	2018	2019
その他 海外派遣者数 合計	608	420	330	393	434

TGL Program達成状況／留学ガイダンス参加者数／ 国際教育センターメールマガジン登録者数

■TGL Program達成状況

(人)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
TGL GOLD	0	13	26	51
TGL SILVER	32	91	485	797
TGL BRONZE	176	439	1670	2,646

■留学ガイダンス参加者数

(人)

年度	日時	名称	会場	参加者数(延べ人数)	合計
2016	4/19	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	15	767
	4/20		川越キャンパス	72	
	4/21		板倉キャンパス	11	
	4/30	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	492	
	10/12	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	38	
	10/18		朝霞キャンパス	9	
	10/19		板倉キャンパス	1	
	10/15	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	129	
2017	4/18	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	10	775
	4/20		川越キャンパス	18	
	4/19		板倉キャンパス	6	
	4/29	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	507	
	10/5	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	11	
	10/6		朝霞キャンパス	5	
	10/2		板倉キャンパス	0	
	10/16	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	218	
2018	4/24	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	40	763
	4/27,28	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	395	
	10/6	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	328	
2019	4/20,22	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	989	1292
	10/5	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	303	

■国際教育センターメールマガジン登録者数*

年度	登録者数(単位:人)
2015	247
2016	919
2017	840
2018	870
2019	819

*2014年度までの名称: 交換留学レジストレーション

2019年度課外英語講座開講実績

■学内向け講座

時期	プログラム	コース名	開講キャンパス				受講人数	受講人数(学部生)														受講人数(大学院生)							その他											
			白山	川越	朝霞	板倉		赤羽台	文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	国際地域	情報連携	ライフデザイン	理工	総合情報	生命科	食環境科	通信	文	経済	経営	法	社会		国際観光	国際地域	社会福祉	総合情報	理工	福祉社会デザイン	生命科	食環境科	学際・融合科学		
春学期	IELTS講座	クラス(1~3)	○					65	7	10	3	3	30	5	3	1	1					1																		
	TOEFL講座	クラス①(500点以上)	○					12	2	2			1	5	1	1																								
		クラス②(500点以下)	○					27	3	3	3	1	4	12	1																									
	TOEIC講座	クラス(A~G)	○					135	26	16	11	12	16	34	16											1	2		1											
		川越クラス		○				26																																
		朝霞クラス			○			9										9																						
		板倉クラス				○		12																																
	ランゲージセンター ライティングプログラム	Conference Writing (CW)	○	○	○	○	○	124	10	7	4	3	11	40	16	2	11	8	11	1																				
		Special Academic Writing (SAW)	○	○	○	○	○	22	4				2	2	1	3	1	3	2																					
		Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)	○					8	2	1			2	1	2																									
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	グループプレッスン(初級)	○	○	○	○	○	143	7	6	15	7	21	6	5			26	17	3	13	15																		
		グループプレッスン(初中級)	○	○	○	○	○	174	13	7	14	3	20	11	14	1	30	22	9	6	11	12																		
		グループプレッスン(中級)	○	○	○	○	○	147	10	10	10	5	18	9	21		17	22	3	1	11	6																		
		グループプレッスン(上級)	○					47	13	3	3	2	7	12	5	2																								
マンツーマンレッスン		○	○	○	○	○	144	20	11	12	5	26	10	7	2	6	10	10	2	10	8																			
ラーニングサポート センタープログラム	英語ベーシックチャレンジ(高校文法)	○					22	6	1	2		4		7											1															
	英語ベーシックチャレンジ(会話初級)	○					29	7	3	3	2	7		5																										
	英語ベーシックチャレンジ(会話中級)	○					17	2	2	1	1	6	2	3																										
		実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]	○					13	4		1		2	1	1	1		1	1	1																				
BEST Program (4・6月期)	Creative/Innovative Thinking講座 (CIT)	○					4	2				1	1																											
	Meeting & Negotiation講座(M&N)	○					4	1				1	1																											
	実践的英語プレゼンテーション講座 [上級コース]	○					0																																	
夏期	TOEFL講座	夏期集中	○					17	2		1		1	11				1	1																					
	IELTS講座	クラス(A, B)	○					51	2	2	2	1	1	36	3	1	2																							
	TOEIC講座	夏期集中・川越クラス		○				8																																
		夏期集中・板倉クラス				○		18																																
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	英会話講座	○	○	○	○	○	37	5	1	4		5	13	1	1	2	3		1	1																			
秋学期	学部TOEIC講座	TOEIC講座(川越)		○				8																																
	TOEIC講座	クラス(A, C)	○					42	6	3	5	4	9	7	5																									
		朝霞クラス			○			14																																
	IELTS講座	通常クラス	○					25	3	4	2	1	2	12																										
	ランゲージセンター ライティングプログラム	Conference Writing (CW)						0																																
	Special Academic Writing (SAW)						0																																	
	Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)						0																																	
冬期	BEST Program (10・1月期)	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]	○					4	2	1					1																									
		Creative/Innovative Thinking講座 (CIT)	○					7	1				1	2	2																									
		Meeting & Negotiation講座(M&N)	○					7	2	1	2					1																								
		実践的英語プレゼンテーション講座 [上級コース]	○					2					1																											
		GEMS/準備講座	○					1					1																											
	ラーニングサポート センタープログラム	英語ベーシックチャレンジ(会話初級)	○					7	1	1	2	1																												
		英語ベーシックチャレンジ(会話中級)	○					35	5	7	2	3	9			4																								
		英語ベーシックチャレンジ(音読初級)	○					10	1	3		1	1		1																									
	<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座	グループプレッスン(初級)	○	○	○	○	○	142	7	6	14	7	20	4	5																									
		グループプレッスン(初中級)	○	○	○	○	○	186	14	8	15	3	25	13	15																									
グループプレッスン(中級)		○	○	○	○	○	152	8	11	11	6	19	7	22																										
グループプレッスン(上級)		○					20	9	1	1	1	4	2	1																										
冬期		マンツーマンレッスン	○	○	○	○	○	113	19	6	7	4	27	9	6	3	4	8	5	1	5	3																		
	TOEIC講座	TOEIC講座	○					30	4	4	3	1	8	3	2		2	1																						
	学部TOEIC講座	TOEIC講座(川越)		○				11																																
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	英会話講座	○	○	○	○	○	5	1	1			1																											
	Spring School at Toyo	○					1																																	
	Everyday English	○					1																																	
	Discussion English	○					1	1																																
								受講人数(学部生)														受講人数(大学院生)							その他											
								2,158	235	135	164	77	284	302	161	47	124	196	130	41	105	88	10	1	4	1	1	4	4	4	2	5	15	1	5	6	0	6		
								2,224	251	153	111	80	221	357	169	146	129	198	79	39	115	110	0	1	2	3	0	11	0	0	0	0	10	10	1	5	3	0	20	
								前年度比		97%	94%	88%	148%	96%	129%	85%	95%	32%	96%	99%	165%	185%	91%	80%	-	100%	200%	33%	-	36%	-	-	-	50%	150%	100%	100%	200%	-	30%

■職員講座

時期	開講講座名		対象	キャンパス	授業時間	開講期間	受講人数	
春	キャンパス英会話	週1回火曜日クラス	職員	白山	40分×10回	5/21～7/23	5	
夏		5日間集中講座	職員	白山・川越	40分×4回/5回	8/26～9/13	6	
秋		週1回火曜日クラス	職員	白山	40分×8回	10/22～12/17	3	
冬		週1回火曜日クラス	職員	白山	40分×8回	2020/1/21～3/17	1	
年間	TOEIC講座	朝勉	職員	白山・川越	45分	6/3～12/20	22	
		朝勉	職員	朝霞	45分	6/3～9/30	2	
夏	目的別研修	ビジネスメール (導入・初級・中級・上級)	職員	白山・川越・朝霞	60分	7/22・23・24・25・26	22	
							2019年度	61
							2018年度	56
							前年度比	108.9%

■附属校生向け講座〔【Toyo Achieve English】英語講座〕

時期	開講講座名		対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数	
春	HR合宿	英語プログラム	牛久高校 1年生	90分×3回	4/17・18	9クラス	370	
冬	高大連携アチーブ イングリッシュ	TOEIC・英会話講座	京北高校 3年生	90分×10回	2020/1/21～2/7	18クラス	69	
冬	高大連携アチーブ イングリッシュ	TOEIC講座	牛久高校 3年生	50分×3コマ×5回	2020/2/3～2/7	6クラス	225	
		英会話講座	牛久高校 3年生	50分×5回	2020/2/3～2/7	15クラス	57	
							2019年度	721
							2018年度	354
							前年度比	203.7%

■学外講座〔【Toyo Achieve English】英語講座(大学・附属校内実施プログラム)〕

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	開講場所	受講人数				
						春	夏	秋	冬	合計
通年	ジュニア講座	マンツーマン	幼稚園児～高校生	40分×10回	白山	24	25	24	30	103
		グループ	幼稚園児～高校生	40分×10回	白山	13	10	9	9	41
	一般英会話	マンツーマン	一般受講者	40分×10回	白山	9	16	14	18	57
		グループ	一般受講者	40分×10回	白山	1	1	2	1	5
合計						47	52	49	58	206

時期	開講講座名	募集対象	授業時間	受講人数						
				白山	朝霞	川越	板倉	赤羽台	牛久	合計
夏季	ジュニア講座[小学生]	1～6年生	1コマ50分×2 5日間連続	25	9	3	4	1	9	51
	ジュニア講座[中学・高校生]	中学生・高校生	1コマ50分×3 5日間連続	15	2	2	1	2	1	23
	一般英会話	大学生以上	1コマ50分×2 5日間連続	3	0	1	2	0	-	6
	Everyday English	大学生以上	3時間×5日間連続	5	-	-	-	-	-	5
	Discussion English	大学生以上	3時間×5日間連続	3	-	-	-	-	-	3
	おもてなし英会話	大学生以上	2時間×5日間連続	2	2	-	-	3	-	7
春季	Discussion English	大学生以上	1時間×5日間連続	4	-	-	-	-	-	4
	おもてなし英会話	大学生以上	2時間×5日間連続	0	-	0	0	-	-	0
	英検面接直前対策講座	小学生以上	1時間×5日間連続	5	-	-	-	-	-	5
	親子で英会話	未就学児の親子	60分	-	0	-	-	-	-	0
春	一日イベント[イースター]	幼稚園児～小学生	90分	15	-	-	-	-	-	15
秋	一日イベント[ハロウィン]	幼稚園児～小学生	90分	28	-	-	-	-	-	28
冬	一日イベント[クリスマス]	幼稚園児～小学生	90分	38	-	-	-	-	-	38
合計				143	13	6	7	6	10	185

	2019年度	391
	2018年度	323
	前年度比	121.1%

■学外講座〔【Toyo Achieve English】英語講座（講師派遣）〕

時期	開講講座名			募集対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数	
通年	文京福祉センター 英会話教室	英会話 講座	4月期(4～7月)	60歳以上 文京区民	90分×10回	4/8～7/29	初級・中級	19	
			8月期(8～11月)	60歳以上 文京区民	90分×10回	8/5～11/25	初級・中級	17	
			12月期(12～3月)	60歳以上 文京区民	90分×10回	12/2～2020/3/23	初級・中級	19	
通年	文京アカデミア講座 (前期)		ディスカッション 英会話	一般	90分×8回	5/15～7/3	中級 (TOEIC500以上)	16	
	文京アカデミア講座 (後期)		ディスカッション 英会話(朝活)	一般	90分×5回	10/4～11/1	中級 (TOEIC500以上)	10	
通年	ヤマト科学株式会社		ビジネス英語	同社社員	50分×3コマ×6回	6/11～11/12	Intermediate	6	
冬	朝霞市生涯学習体験教室		おもてなし英会話	朝霞市在住・ 在学・在勤者	90分×5回	2020/1/31～2/28	初級	16	
								2019年度	103
								2018年度	142
								前年度比	72.5%

■学外講座〔BEST Program(独自英語プレゼンテーション講座)〕

	開講講座名	募集対象	授業時間	キャンパス	開講期間	授業時間	受講人数	合計
春学期 (4・6月期)	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]	一般社会人	90分×6回	白山	・4/15～5/27 ・6/17～7/22	毎週月曜 19:00-20:30	1	5
	Creative/Innovative Thinking講座		90分×6回	白山	・4/18～5/30 ・6/20～8/1	毎週木曜 19:00-20:30	1	
	Meeting & Negotiation講座(M&N)		90分×6回	白山	・4/16～5/28 ・6/28～7/30	毎週火曜 19:00-20:30	3	
秋学期 (10・1月期)	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]	一般社会人	90分×6回	白山	10/14～11/25	毎週月曜 19:00-20:30	3	9
	Creative/Innovative Thinking講座		90分×6回	白山	10/17～11/28	毎週木曜 19:00-20:30	2	
	Meeting & Negotiation講座(M&N)		90分×6回	白山	・10/15～11/26 ・2020/1/14～2/18	毎週火曜 19:00-20:30	3	
	実践的英語プレゼンテーション講座 [上級コース]		90分×6回	白山	10/16～11/27	毎週水曜 19:00-20:30	1	
春季 (3月期)	Meeting & Negotiation講座(M&N)	一般社会人	90分×6回 もしくは 180分×3回	白山	・3/9～3/26 ・3/8～3/22	19:00-20:30 10:00-13:00	新型コロナウイルスのため中止	
						2019年度	14	
						2018年度	33	
						前年度比	42.4%	

■英語資格試験(国際教育センター主催分)

・試験種類、受験料等

資格試験名	年間実施回数	会場	受験料	
			学生負担	一般受験時
IELTS	5回	学内 (白山・川越キャンパス)	10,000円	25,380円
TOEFL ITP	7回	学内 (白山キャンパス)	3,200円 (9/30以前) (※1) 3,260円 (10/1以降) (※1)	-
TOEIC L&R IP	4回	学内 (白山・川越・朝霞キャンパス)	3,900円 (9/30以前) 4,000円 (10/1以降)	5,725円
TOEIC S&W IP	2回	学外 (テストセンター)	2,330円 (※2)	10,260円

※1 団体受験時の受験料

※2 TOEIC500 点以上 (またはそれ相当) スコア取得者のみ

・受験者数

資格試験名	受験地	受験者数																							計									
		学部生												大学院生																				
		文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科学	食環境科	文	社会	法	経営	理工	経済	国際地域	国際	国際観光		生命科学	福祉社会デザイン	社会福祉学	学際・融合科学	総合情報	食環境科	情報連携	その他	
TOEIC L&R IP	学内(白山、川越、朝霞)	436	405	320	217	237	63	364	293	31	29	109	74	19	36	3	1	1		4				9	4	2		1		2	2		5	2,667
TOEIC S&W IP	学内	8	5	4		6		6	1	1	5	1	1		1	2		1						1										44
TOEFL ITP	学内(白山)	108	32	40	13	50	6	231	44	3	4	12	7	2		3														2			2	559
IELTS	学内(白山、川越)	31	19	14	13	14	12	286	15	2	2	4	4									1	1		2							1	421	

各種海外留学奨学金

■JASSO海外留学支援制度奨学金

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2015	短期研修・研究型	協定派遣	UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	1,520,000	19	0	19	0	0	19	0	19	0	0	480,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)国際センター企画語学留学プログラム	7,680,000	48	0	48	0	0	96	0	96	0	0	7,680,000
			スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)国際地域学部グローバル人材育成支援プログラム	7,010,000	59	2	5	49	3	94	2	40	49	3	7,010,000
			スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学経済学部中国経済・社会研修	600,000	10	0	0	0	10	10	0	0	0	10	辞退
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学交換留学プログラム	27,200,000	66	0	50	12	4	350	0	286	48	16	21,200,000
2016	短期研修・研究型	協定派遣	長期インターンシッププログラム	2,280,000	5	3	0	1	1	27	15	0	6	6	760,000
			国際地域学部 海外インターンシッププログラム	7,420,000	43	5	4	27	7	100	16	8	62	14	1,940,000
			国際地域学部 Short-term Field Study	2,800,000	40	0	0	40	0	40	0	0	40	0	2,380,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディーツアープログラム	1,120,000	16	0	0	16	0	16	0	0	16	0	1,120,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	2,400,000	30	0	30	0	0	30	0	30	0	0	1,280,000
			UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	2,000,000	25	0	25	0	0	25	0	25	0	0	720,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	1,920,000	32	0	0	0	32	32	0	0	0	32	480,000
			国際教育センター企画語学留学プログラム	11,120,000	73	0	73	0	0	139	0	139	0	0	8,160,000
		協定受入	東洋大学交換留学プログラム	9,200,000	43	0	31	5	7	115	0	88	10	17	7,520,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学Study Abroadプログラム	3,040,000	5	0	3	2	0	40	0	24	16	0	1,370,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	20	0	10	8	2	40	0	20	16	4	3,200,000
2017	短期研修・研究型	協定派遣タイプA	東洋大学経済学部海外経済研修(欧州)	1,920,000	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	1,840,000
		協定派遣タイプB	UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	1,440,000	18	0	18	0	0	18	0	18	0	0	560,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	1,380,000	23	0	0	0	23	23	0	0	0	23	180,000
			国際地域学部 Short-term Field Study	1,960,000	28	0	0	28	0	28	0	0	28	0	1,960,000
			国際地域学部 海外インターンシッププログラム	2,360,000	31	5	4	22	0	31	5	4	22	0	1,140,000
			長期インターンシッププログラム	2,100,000	4	3	0	1	0	24	15	0	6	3	800,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディーツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,680,000	21	0	21	0	0	21	0	21	0	0	1,680,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学交換留学プログラム	3,100,000	4	0	3	1	0	40	0	30	10	0	1,990,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	7	2	1	40	0	28	8	4	2,880,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム②	420,000	1	0	0	1	0	6	0	0	6	0	辞退
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム③	720,000	1	0	0	0	1	12	0	0	0	12	60,000
		協定受入	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)サマープログラム	2,400,000	30	0	0	26	4	30	0	0	26	4	1,760,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム③	640,000	2	0	0	1	1	8	0	0	4	4	0
2018	短期研修・研究型	協定派遣タイプA	国際教育センター海外インターンシップ・ボランティア	5,640,000	70	8	45	16	1	71	8	45	16	2	4,880,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディプログラム:エビをめぐる日本のとインドネシアの国際関係	1,400,000	20	0	0	20	0	20	0	0	20	0	560,000
			UH Manoa-Toyo ; Global Study Program-Exploring the Economic Environment in Hawaii	880,000	11	0	11	0	0	11	0	11	0	0	480,000
			国際学部 海外英語実習	3,840,000	24	0	24	0	0	48	0	48	0	0	3,080,000
2018	短期研修・研究型	協定派遣タイプB	東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	460,000

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2019			国際地域学部 Student-led Field Study	3,220,000	23	0	0	23	0	46	0	0	46	0	1,340,000
			海外インターンシッププログラム	2,380,000	23	0	0	12	11	36	0	0	22	14	350,000
			長期インターンシッププログラム	200,000	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型 スタディツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	960,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	3,200,000	4	0	3	1	0	40	0	30	10	0	1,340,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	6	2	2	40	0	24	8	8	2,560,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム②	770,000	2	0	0	2	0	11	0	0	11	0	700,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	140,000	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	辞退
		協定受入	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム②	2,400,000	6	0	0	5	1	30	0	0	25	5	1,600,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	480,000	6	0	6	0	0	6	0	6	0	0	480,000
	短期研修・ 研究型	協定派遣 タイプA	EU諸国における経済の実態探求並びに異文 化理解プログラム	1,920,000	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	辞退
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもと づく、「地域づくり」人材育成研修	7,600,000	100	0	70	20	10	100	0	70	20	10	1,030,000
			ベトナム現地企業におけるアプリケーション開 発に係わるインターンシッププログラム	240,000	4	0	0	0	4	4	0	0	0	4	140,000
			国際観光学研修	2,200,000	30	0	10	20	0	30	0	10	20	0	800,000
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語 学留学プログラム	31,150,000	98	1	69	28	0	281	7	206	68	0	21,940,000
			ワシントンセンターインターンシップ、国連ユース ボランティア研修プログラム	2,020,000	5	3	0	1	1	23	15	0	4	4	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型 スタディツアープログラム	1,750,000	25	0	0	25	0	25	0	0	25	0	1,120,000
		協定派遣 タイプB	東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	240,000
			国際地域学部 Student-led Field Study	1,610,000	23	0	0	23	0	23	0	0	23	0	1,610,000
			海外インターンシッププログラム	1,270,000	16	0	0	7	9	20	0	0	7	13	辞退
			国際教育センター海外インターンシップ・ボラ ンティアプログラム	4,940,000	45	5	30	10	0	63	5	38	20	0	2,110,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディー プログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの 国際関係	910,000	13	0	0	13	0	13	0	0	13	0	490,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	辞退
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	2,940,000	8	0	7	1	0	37	0	35	2	0	1,740,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	2,880,000	10	0	6	2	2	39	0	23	8	8	2,880,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	3,460,000	8	0	0	5	3	52	0	0	34	18	2,940,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム④	180,000	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	120,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム⑤	450,000	3	0	0	1	2	7	0	0	3	4	330,000
		協定受入	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム①	1,200,000	3	0	3	0	0	15	0	15	0	0	1,200,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	800,000	1	0	1	0	0	10	0	10	0	0	400,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム④	160,000	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0	辞退

●留学生交流支援制度/海外留学支援制度(短期派遣):指定都市 100,000円,甲地域 80,000円,乙地域 70,000円,丙地域 60,000円

※2019年度の派遣学生については、重点政策枠により2020年度中の支給があるため、実績値としては上記の金額となる。

■官民協働海外留学支援制度トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム

年度	期	プログラムタイプ	奨学金支給割当月数					その他(留学準備金等)	実績額 (円)
			人月数	指定	甲	乙	丙		
2014	第1期生	実践活動	11	0	0	11	0	授業料:291,000円、渡航費:100,000円	1,931,000
		交換留学+ボランティア	12	0	9	0	3	渡航費:200,000円	2,000,000
		国連ユースボランティア	5	0	0	5	0	受入先負担のため支給なし	700,000
2015	第3期生	交換留学+インターンシップ	12	0	12	0	0	渡航費:200,000円	2,120,000
		交換留学+ボランティア	12	0	9	0	3	渡航費:200,000円	2,000,000
		インターンシップ	12	0	0	12	0	渡航費:100,000円	2,020,000
2016	第4期生	交換留学+インターンシップ	11	0	11	0	0	渡航費:200,000円+授業料:300,000円 +事後研修参加費:20,000円	1,780,000
		インターンシップ	10	0	0	10	0	渡航費:100,000円	1,500,000
		インターンシップ	11	0	0	11	0	渡航費:100,000円	1,640,000
	第5期生	インターンシップ	4	0	0	0	4	渡航費:100,000円+授業料:207,000円	787,000
		インターンシップ	9	0	0	0	9	留学準備金:250,000円	1,330,000
2018	8期生	インターンシップ	12	0	0	0	12	留学準備金:150,000円	1,590,000
		交換留学+インターンシップ	12	0	9	0	3	留学準備金:250,000円	2,050,000
		インターンシップ	10	0	0	0	10	留学準備金:150,000円	1,350,000
		交換留学+インターンシップ	14	0	8	0	6	留学準備金:250,000円	2,250,000
	9期生	休学留学+インターンシップ	11	0	9	0	2	留学準備金:250,000円 +授業料:300,000円	2,230,000
		交換留学+インターンシップ	7	0	7	0	0	留学準備金:250,000円	1,370,000
		インターンシップ	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000
2019	10期生	実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:150,000円	1,590,000
		インターンシップ	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000
	11期生	インターンシップ	5	0	0	0	5	留学準備金:150,000円	750,000
		交換留学+インターンシップ	13	0	11	0	2	留学準備金:250,000円	2,250,000
		語学留学+インターンシップ	12	0	0	0	12	留学準備金:250,000円	1,690,000
		インターンシップ	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000

●トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム:指定都市 200,000円,甲地域 160,000円,乙地域 140,000円,丙地域 120,000円(※辞退者を除く)

■海外留学促進奨学金支給実績

2019年度分更新(年度内支給予定額含む)

年度	受給者数/金額	ファーストステップ型	チャレンジ型	アクティブ型	グローバルリーダー型	計
2012	受給者数	63名	33名	0名	0名	96名
	受給金額	3,970,000円	6,500,000円	0円	0円	10,470,000円
2013	受給者数	56名	57名	1名	0名	114名
	受給金額	3,860,000円	11,350,000円	350,000円	0円	15,560,000円
2014	受給者数	183名	99名	33名	6名	321名
	受給金額	12,420,000円	18,572,905円	12,150,000円	9,000,000円	52,142,905円
2015	受給者数	159名	128名	33名	3名	323名
	受給金額	10,560,000円	23,160,000円	11,450,000円	4,500,000円	49,670,000円
2016	受給者数	202名	106名	38名	3名	349名
	受給金額	12,880,000円	20,291,150円	13,313,900円	4,500,000円	50,985,050円
2017	受給者数	-	331名	85名	11名	427名
	受給金額	-	46,058,655円	29,680,000円	12,600,000円	88,338,655円
2018	受給者数	-	531名	121名	8名	658名
	受給金額	-	66,241,573円	43,640,000円	9,300,000円	119,181,573円
2019	受給者数	-	428名	127名	8名	563名
	受給金額	-	54,661,864円	44,890,000円	9,900,000円	109,451,864円

※支給年度ベース(申請年度ベースではない)

※2017年度より「ファーストステップ型」は廃止(「チャレンジ型」と統合)

2019年度 渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金A・B 志願者内訳

■タイプA入試実施状況

(人)

		志願者数				合格者数				入学手続者数			
		イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計
4月入学	2017年度入学	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018年度入学	73	13	37	123	31	7	16	54	30	7	16	53
	2019年度入学	63	11	38	112	16	11	12	39	15	10	12	37
	2020年度入学 (9月入試実施)	22	7	12	41	7	3	5	15	7	3	5	15
	2020年度入学 (11月入試実施)	33	2	28	63	8	1	3	12	8	1	2	11
	計	55	9	40	104	15	4	8	27	15	4	7	26
9月入学	2017年度入学												
	2018年度入学	74		43	117	15		5	20	14		5	19
	2019年度入学	88		40	128	15		8	23	15		6	21
	2020年度入学 (2月入試実施)	34		12	46	8		3	11	7		3	10
	2020年度入学 (5月入試実施)※	44		22	66	8		2	10	7		2	9
	計	78		34	112	16		5	21	14		5	19
年間合計	2017年度入学	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018年度入学	147	13	80	240	46	7	21	74	44	7	21	72
	2019年度入学	151	11	78	240	31	11	20	62	30	10	14	58
	2020年度入学	133	9	74	216	31	4	13	48	29	4	12	45

※入試は4月実施の予定であったが、新型コロナウイルスの影響により5月に実施した。

■タイプB入試実施状況

(人)

	志願者数												受験者数												合格者数																				
	文		社会		国際	国際観光			理工		総合情報	生命科学	計	文		社会		国際	国際観光			理工		総合情報	生命科学	計	文		社会		国際	国際観光			理工		総合情報	生命科学	計						
	日本文学文化	社会	社文シス	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築		総合情報	生命科学	日本文学文化	社会	社文シス	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学		都市環境	建築	総合情報	生命科学	日本文学文化	社会	社文シス	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工		電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学
2018年度入学	3	5	4		7	9			1					29	3	4	4		7	7			1				26	1	2			1												5	
2019年度入学	14	7	9	13	27	1		1				1	2	1	76	14	7	9	13	27	1		1				76	1	1	3	1	8			1							2			17
2020年度入学	12	6	9	11	44	1	2				2	4	2	1	94	12	6	9	11	44	1	2				2	4	2	1	94	2	1	2	2	6					1	2	2			18

■志願者 国別内訳

タイプA 2020年4月入学者対象入試 (人)

	イノベ	地域	情報連携	計
ベトナム	20	7	13	40
タイ	4	0	6	10
韓国	8	1	0	9
インドネシア	4	0	4	8
ウズベキスタン	6	0	1	7
フィリピン	5	1	0	6
ミャンマー	2	0	3	5
モンゴル	0	0	4	4
ブルガリア	0	0	3	3
香港	0	0	2	2
インド	0	0	1	1
ザンビア	1	0	0	1
台湾	1	0	0	1
ドイツ	1	0	0	1
バングラディッシュ	1	0	0	1
ペルー	0	0	1	1
ポーランド	1	0	0	1
メキシコ	1	0	0	1
モザンビーク	0	0	1	1
ラオス	0	0	1	1
20カ国・地域	55	90	40	104

タイプA 2020年9月入学者対象入試 (人)

	イノベ	情報連携	計
ベトナム	35	10	45
インドネシア	8	7	15
中国	5	3	8
フィリピン	6	2	8
タイ	3	3	6
モンゴル	4	2	6
香港	1	2	3
アメリカ	2	0	2
インド	2	0	2
ウズベキスタン	2	0	2
カザフスタン	0	2	2
韓国	2	0	2
ブルガリア	2	0	2
ミャンマー	1	1	2
イエメン	0	1	1
ガーナ	1	0	1
台湾	0	1	1
パキスタン	1	0	1
フランス	1	0	1
マレーシア	1	0	1
ラオス	1	0	1
21カ国・地域	78	34	112

タイプB 2020年4月入学者対象入試 (人)

学部	文	社会			国際	国際 観光	理工						総合 情報	生命 科学	計
学科	日本文 学文化	社会	社文 シス	社会 福祉	国際 地域	国際 観光	機械工	生体 医工	電気 電子	応用 化学	都市 環境	建築	総合 情報	生命 科学	
韓国		8	6	8	8	40	1	1			2	3	2	1	80
中国		4		1	2	2		1				1			11
台湾						1									1
香港					1										1
マレーシア						1									1
学科計		12	6	9	11	44	1	2	0	0	2	4	2	1	94
学部合計		27			11	44	9						2	1	94

2019年度海外留学フェア参加およびリクルーティング 出張実績

	日程	国	都市	目的	出張者・担当者
1	6月1日(土)	シンガポール	シンガポール	大学説明会(在シンガポール日本大使館主催)	資料参加
2	6月2日(月)～7日(金)	タイ	バンコク	June Fair(JASSO、在バンコク日本大使館主催)	バンコクオフィス職員
※ 3	8月14日(水)～18日(日)	香港	香港	日本留学フェア(JASSO主催)、高校訪問	-
4	8月20日(火)～9月2日(月)	ペルー ブラジル	リマ リオデジャネイロ サンパウロ	日本留学フェア(筑波大学主催)、高校訪問	高橋清隆部長 木元直子主任
5	8月22日(木)～28日(水)	タイ	バンコク	日本留学フェア(JASSO主催)、高校訪問	八町慶子課長補佐 小俣安希子
6	8月27日(火)～31日(土)	ミャンマー	ヤンゴン	日本留学フェア(岡山大学主催)、高校訪問	玉田誠課長 幡手洋祐主任
7	9月17日(火)～24日(火)	モンゴル	ウランバートル	日本留学フェア(JICA主催)、高校訪問	幡手洋祐主任
8	9月20日(金)	ケニア	ナイロビ	日本留学フェア(北海道大学主催)	中村香子 (国際学部准教授)
9	9月25日(水)～10月2日(水)	韓国	釜山・ソウル	日本留学フェア(JASSO主催)、高校、協定校訪問	玉田誠課長 清水和樹
10	10月2日(水)～9日(水)	ベトナム	ホーチミン・ハノイ	日本留学フェア(JASSO主催)、高校訪問	澤本和哉主任
11	10月16日(水)～28日(月)	中国	北京・上海	日本留学フェア(JASSO主催)、協定校訪問	高橋清隆部長 牧野智美主任 魏 倍青 清水和樹
12	11月2日(土)	香港	香港	日本留学フェア(ASIAS主催)、高校訪問	清水和樹 (オンラインで参加)
13	11月6日(水)～14日(木)	カザフスタン ウズベキスタン	アルマトイ タシュケント	日本留学フェア(名古屋大学主催)、高校、大学訪問	牧野智美主任
14	11月20日(水)～27日(水)	インドネシア	スラバヤ・ジャカルタ	日本留学フェア(JASSO主催)、高校訪問	清水和樹 堀 亮輔
15	1月10日(金)～15日(水)	マレーシア	クアラルンプール	日本留学フェア(JASSO主催)、高校、協定校訪問	牧野千聖 井部望美

※ 現地情勢悪化により中止

国際教育センター運営委員会（審議事項）

【第1回】2019年4月22日（月）16:30～17:30

1. 東洋大学国際教育センター教員採用・昇格資格審査基準ならびに東洋大学国際教育センター契約制外国語講師及び契約制日本語講師採用資格審査基準の改定について
2. 国際教育センター専任教員採用人事（国際比較教育分野）について
3. 海外大学との協定締結について
4. 2019年度前期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
5. 2019年度東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー型」「トップ大学型」の選考について
6. 2019年度第Ⅱ期交換留学生の受入および受入学部について
7. 平成31年度JEES奨学金および学習奨励費（就職促進）受給者の選考結果について

【第2回】メール会議

2019年4月25日（木）～5月7日（火）10:00

1. 海外大学との協定締結について

【第3回】2019年5月20日（月）16:30～17:15

1. 国際教育センター教員人事および教員資格審査委員会委員の委嘱（臨時）について
2. 海外大学との協定締結について
3. 2019年度前期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
4. 日本学生支援機構（JASSO）2019年度海外留学支援制度国際教育センター採択プログラムの奨学金受給者選抜基準について
5. 留学生就職促進プログラム 学習奨励費の対象学生の変更について（追認）

【第4回】メール会議

2019年6月7日（金）～6月12日（水）10:00

1. 国際教育センター教員資格審査委員会委員の委嘱について

【第5回】2019年6月17日（月）16:30～17:30

1. 国際教育センター教員人事について
2. 2020年度交換研究員（派遣）の選考について
3. 国際教育センター運営委員会関連規程改正について
4. 海外大学との協定締結について
5. 東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー型」受給者の選抜（案）について（2019年度第1回目）
6. 2020年度春学期協定校語学留学の募集について
7. 2019年度英語スピーチ&プレゼンテーションコンテストの実施について
8. 2019年度10月開始 大学院生対象 SGU国費外国人留学生の選考結果（案）について

【第6回】2019年7月22日（月）16:30～17:30

1. 国際教育センター教員人事について（2020年度教員採用に係る書類審査結果）
2. 国際教育センター教員人事について（2019年度基盤教育日本語科目担当非常勤講師の採用）
3. 国際会館レジデント・アシスタント（RA）に関する規程改正について
4. 2020年度第Ⅱ期交換留学（派遣）募集要項について
5. 2020年度第Ⅰ期交換留学及び留学プログラム（有料）募集要項について
6. 外国人研究員（受入）について
7. 海外大学との協定締結について
8. 2019年度日本語プレゼンテーションコンテストの実施について

【第7回】臨時会議

2019年9月2日（月）13:34～13:50

1. 2020年度教員採用（専任教員）における第2次審査・選考について

【第8回】メール会議

2019年9月4日(水)～9月9日(月)10:00

1. 2020年度第I期交換留学(UMAP)派遣候補者について

【第9回】2019年10月21日(月)16:30～17:30

1. 2020年度国際教育センター予算要求(案)について
2. 海外大学との協定締結について
3. 受入 外国人研究員(受入)について
4. 2019年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について
5. 東洋大学海外留学促進奨学金「イタリア語」語学基準の設定について
6. 2020年度第I期交換留学(協定校)派遣候補者について
7. 2019年度春季短期留学プログラムの実施計画について

【第10回】2019年10月21日(月)16:30～17:30

1. 海外大学との協定締結について(2019年9月)
2. 2019年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について(10月)
3. 2020年度春出発オーストラリア認定留学の派遣候補者について
4. 2020年度春学期協定校語学留学の派遣候補者について
5. 2019年度国際教育センター運動会の開催について(LEP企画)
6. オリンピック金メダリストによる講演・ワークショップの実施

【第11回】2019年11月18日(月)16:30～17:30

1. 2020年度国際教育センター専任教員(契約制日本語講師)の採用(後任補充)について
2. 海外大学との協定締結について(2019年10月)
3. 2019年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について

4. 2020年度春出発認定留学生の派遣候補者について
5. 2020年度秋学期協定校語学留学の募集について
6. 2020年度第I期交換留学生の受入及び受入学部について
7. 2019年度第II期交換留学生(受入)の留学期間変更について
8. 交換留学生(受入)の宿舍変更による宿舍費の返金について

【第12回】メール会議

2019年12月2日(月)～12月6日(金)10:00

1. 2020年度国際教育センター契約制日本語講師採用(後任補充)について

【第13回】メール会議

2019年12月13日(金)～12月16日(月)10:00

1. 2020年度国際教育センター契約制外国語講師採用(後任補充)について

【第14回】2019年12月16日(月)16:30～18:00

1. 2020年度教員採用について
2. 2021年度新カリキュラムの策定について
3. 海外大学との協定締結について(2019年11月)
4. 「ワシントンセンターインターンシッププログラム(TWC)」の東洋大学海外留学促進奨学金の取扱いについて
5. 2020年度第II期交換留学及び留学プログラム(有料)募集要項について(受入)
6. 外国人研究員(受入)について

【第15回】メール会議

2019年12月24日(火)～1月4日(土)10:00

1. 2020年度国際教育センター特別任用教員採用(後任補充)について

【第16回】メール会議

2020年1月14日(火)～1月16日(木)9:00

1. 2020年度国費外国人留学生(スーパーグローバル大学創生事業枠)の推薦について

【第17回】2020年1月20日(月)16:30～18:00

1. 2020年度教員採用について
2. 海外大学との協定締結について
3. 2020年度第Ⅱ期交換留学の派遣候補者について

【第18回】メール会議

2020年2月6日(木)～2月7日(金)16:00

1. 2020年度国際教育センター特別任用教員採用(後任補充)第1次審査(書類選考)結果及び第2次審査(模擬講義等)案について

【第19回】2020年2月17日(月)16:30～18:30

1. 2020年度教員人事について
2. 海外大学との協定締結について
3. 協定校交換研究員派遣要領の廃止及び東洋大学協定校交換研究員派遣要領の制定について
4. 2021年度交換研究員派遣候補者の募集について
5. ストラスブール大学からの招聘教員受入要領の制定について

【第20回】臨時会議

2020年2月28日(金)14:00～16:00

1. 2020年度教員人事について
2. 協定校交換研究員派遣要領の廃止及び東洋大学協定校交換研究員派遣規程の制定について

【第21回】メール会議

2020年3月2日(月)～3月4日(水)9:00

1. 2019年度TGLプログラムTGL GOLDの卒業生の表彰について

【第22回】2020年3月16日(月)16:30～17:40

1. 海外大学との協定締結について
2. 高等教育の修学支援新制度開始に伴う交換・認定・協定校語学留学奨学金の取扱いについて(案)
3. 2020年度秋学期協定校語学留学の派遣候補者について

4. 2020年度夏季Diversity Voyage実施計画について
5. 2020年度前期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定および募集要項について
6. 新型コロナウイルスに関する交換留学生の返金対応等について(案)
7. 令和2(2020)年度JEES日本語教育普及奨学金(日能)大学推薦者募集要項(案)について
8. 令和2(2020)年度JEES留学生奨学金(就職促進)大学推薦者募集要項(案)について

以 上

国際教育センターに係る規程一覧

規程	施行日	最終改正日
東洋大学国際教育センター規程	2015(平成27)年10月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学学生の留学に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学大学院学生の留学に関する規程	1996(平成8)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学交換留学生受入に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国際交流基金規則	1987(昭和62)年10月28日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際交流基金細則	1995(平成7)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際会館管理運営規程	2007(平成19)年12月25日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国際会館利用細則	2007(平成19)年12月25日	2019(令和元)年8月1日
東洋大学国際交流基金経費支出基準	1995(平成7)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校交換研究員派遣要領	1999(平成11)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学外国人研究員受入れに関する内規	2000(平成12)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学受入交換留学生教育指導要領(旧:東洋大学交換留学生・学部研究科受入要領)	1998(平成10)年9月26日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学授業料徴収型留学生受入経費等取扱規程	2019(令和元)年5月1日	2019(令和元)年5月1日
協定校との共同研究実施要領	1995(平成7)年10月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校との文献の交換要領	1991(平成3)年10月1日	2015(平成27)年10月1日
留学支援のための英語特別教育科目専門委員会規程(旧:留学支援のための英語特別教育科目運営委員会要項)	2006(平成18)年4月1日	2019年(令和元)年5月1日
協定校並びに国際的な学生交換コンソーシアム加盟大学等からの留学生に対する日本語・日本文化教育科目専門委員会規程	2006(平成18)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学ISEP交換留学生受入れに伴う宿舍提供及び食費支給基準(旧:ISEP交換留学生受入要領)	2006(平成18)年7月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学ISEP交換留学生派遣に伴う費用取扱規程	2005(平成17)年4月1日	2019(平成31)年4月1日
東洋大学海外留学促進奨学金規程	2014(平成26)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する規程	2015(平成27)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する事務取扱要領	2015(平成27)年4月1日	2019年(令和元)年7月1日
東洋大学国際教育センター教員資格審査委員会規程	2015(平成27)年11月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国際連携推進委員会細則	2015(平成27)年1月1日	2018(平成30)年5月25日
東洋大学国際会館及び学外契約留学生宿舍レジデント・アシスタント制度に関する要領	2018(平成30)年4月1日	2019(令和元)年8月1日
東洋大学留学生宿舍(学外契約物件)宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学国際会館宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学及び東洋大学大学院学生の休学留学に関する取扱要項	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年4月1日

2020(令和2)年5月1日時点

国際教育センター構成員

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度(9月30日まで)
		国際センター			
国際センター 構成員	第1号	中鉢 恵一	中鉢 恵一	高橋 一男	高橋 一男
	第2号	高橋 一男	高橋 一男	王 亜新	王 亜新
		-	-	スティーブン・グリーン	スティーブン・グリーン
	第3号	宇田川晴義	宇田川 晴義	佐藤 泰人	田中 一隆
		大野 裕之	大野 裕之	曾田 長人	ニューフィールズ・ティモン
		マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン	マッケンジー・アーリソン
		李 芝妍	高橋 豊美	室松 慶子	室松 慶子
		姜 英淑	姜 英淑	長 広美	長 広美
		小河 繁彦	小河 繁彦	小河 繁彦	小河 繁彦
		村田 由美恵	岡村 敏之	グライアム・ロブソン	グライアム・ロブソン
		竹井 弘之	柏田 祥策	竹井 弘之	竹井 弘之
		木内 明	高山 静子	高山 静子	阿久津 純恵
		安達 由洋	武市 三智子	武市 三智子	藤本 貴之
		-	吉江 由美子	福森 文康	福森 文康
事務局	国際部国際推進課				

		年度	2015年度 (10月1日以降)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
		センター名称	国際教育センター				
国際 教育 センター 構成員	第1号	センター長	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男
	第2号	副センター長	王 亜新	王 亜新	董 晶輝	董 晶輝	グリーン・スティーブン
		副センター長	グリーン・スティーブン	グリーン・スティーブン	グリーン・スティーブン	グリーン・スティーブン	王 学郡
	第3号	教務部長	神田 雄一	神田 雄一	高橋 豊美	高橋 豊美	高橋 豊美
	第4号	文学部	田中 一隆	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子
		経済学部	ニューフィールズ・ ティモシ	古田 直肇	ニューフィールズ・ ティモシ	ニューフィールズ・ ティモシ	ニューフィールズ・ ティモシ
		経営学部	マッケンジー・ アーリソン	マッケンジー・ アーリソン	李 振	李 振	李 振
		法学部	室松 慶子	室松 慶子	室松 慶子	大野 公賀(4月) 山下 りえ子(5～3月)	山下 りえ子
		社会学部	長 広美	須田 木綿子	箕曲 在弘	長津 一史	佐藤 亜樹
		国際地域学部・国 際学部・国際観光 学部	グライアム・ロブソン	市田 せつ子	志摩 憲寿 市田 せつ子	芦沢 真五 市田 せつ子	中村 香子 グライアム ロブソン
		理工学部	小河 繁彦	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予
		総合情報学部	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之(4～8月) 中林 靖(9～3月)	中林 靖(4～8月) 藤本 貴之(9～3月)
		生命科学部	竹井 弘之	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子
		食環境科学部	福森 文康	福森 文康	福森 文康	福森 文康	福森 文康
		ライフデザイン学部	阿久津 純恵	阿久津 純恵	柏樹 良	柏樹 良	大木 裕子
		情報連携学部	-	-	井村 亮	椋 計人	椋 計人
	第5号	白山キャンパス 研究科委員	董 晶輝	董 晶輝	董 晶輝	董 晶輝	鳥飼 裕一
		川越キャンパス 研究科委員	森本 久雄	多田 光利	多田 光利	吉野 隆(4月) 本橋 健次(5～3月)	本橋 健次
		朝霞キャンパス 研究科委員	大迫 正文	大迫 正文	川内 美彦	高橋 直美	平野 智之
		板倉キャンパス 研究科委員	一石 昭彦	廣津 直樹	廣津 直樹	佐々木 伸大	佐々木 伸大
		赤羽台キャンパス 研究科委員	-	-	井村 亮	椋 計人	椋 計人
	第6号	国際部長	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆
	第7号	国際教育センター	-	関山 健	関山 健	関山 健	小早川 裕子
			-	-	田中 祐輔	田中 祐輔	田中 祐輔
			-	-	小早川 裕子	小早川 裕子	牛窪 隆太
事務局		国際部国際推進課			国際部国際課		

各種刊行物の発行

■各種刊行物の発刊

名称	言語	対象	刊行時期	内容
TOYO UNIVERSITY (大学概要・英語版)	英語	海外の高等教育機関	6月	大学概要、研究科、学部学科、留学生宿舎等の紹介
国際交流プログラムパンフレット 2020	日本語	本学在学生 一般	3月	本学留学・国際交流プログラム全般の紹介
TOYO GLOBAL DIAMONDS Toyo Global Leader Program	日本語	本学在学生	4月	TGL プログラムの紹介
TOYO UNIVERSITY 2020 FULL- SCHOLARSHIP FOR UNDERGRADUATE PROGRAMS (TAUCHT IN ENGLISH)	英語	海外の高等教育機関、高校生等	7月	東洋トップグローバル奨学金の内容及び対象学部学科カリキュラムの紹介(2020年度入学用)
TOYO GLOBAL DIAMONDS NEWS LETTER Vol.9, 10, 11	日本語 英語	大学・附属校の教職員	7月 1月 3月	スーパーグローバル大学創成支援事業における「TOYO- GLOBAL DIAMONDS」構想の取組およびSGUの活動成果の進捗
2020 東洋大学 外国人留学生の手引き	日本語 英語	本学在学留学生	3月	留学生生活全般に関するお知らせ

■刊行物以外の広報物等

名称	言語	対象	掲載時期等	内容
Japan Times「G20内特別企画:大学学長に聞く『国際社会における大学の役割』特集」	英語	海外の高等教育機関	2019年6月27日	大学概要、研究科、学部学科、SGU等の紹介
文部科学省所管SGU基幹サイト	日本語 英語	一般	随時	SGU取組み内容
FACEBOOK	英語	一般	随時	本学Webサイト掲載Newsへの誘導、渡日前入試等の告知



【2019 年度】国際教育センター年報

2020 年 6 月 30 日発行

発行 東洋大学国際教育センター

(Center for Global Education and Exchange)

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

TEL 03-3945-8593 FAX 03-3942-2489

E-mail ml-intl@toyo.jp

URL <https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/>